ライオン誌（毎月20日発行）第55巻第2号 2012年7月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION

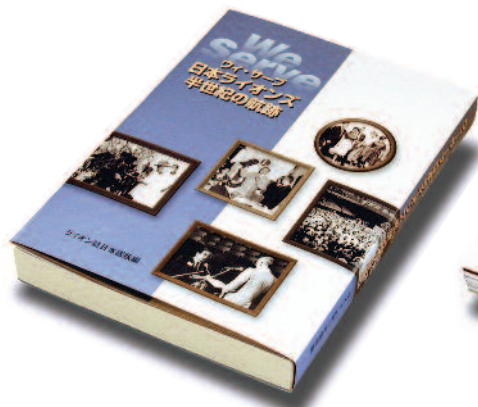
WWW.THELION-MAG.JP AUGUST 2012

釜山国際大会

ライオン誌日本語版出版物

創刊55周年記念特別セット（価格1,000円／送料込）

ライオン誌日本語版は2012年7月号で、第55巻目に入りました。ライオン誌日本語版委員会ではこれを記念して、ライオン誌出版物のうちライオンズの歴史に関連する『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』を3冊セットにして1,000円（送料込／通常1,900円・送料別）で頒布することにしました。この機会にぜひお求めください。
※部数に限りがあります。お早めにお申し込みください。

●ウィ・サーブ

1952年に初めてのライオンズクラブが誕生してから、世界有数のライオンズ国となるまでの日本ライオンズ半世紀の軌跡。
B6判 332ページ（※通常頒価800円）

●ライオニズムよ永遠に

ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズの生涯を時代と共に活写した労作。ジョーンズの書簡集と寸言録も収録。
B6判 224ページ（※通常頒価800円）

●『ライオン』誌創刊号復刻版

1958年、『ライオン』誌日本語版創刊。発行部数はわずか4,500部だったが、誌面からは草創期の活気がひしひしと伝わってくる。
B5判 68ページ（※通常頒価300円）

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jpあてにご注文ください。
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門…………□部
●クラブ運営の基礎知識…………□部
●リーダーシップを養う…………□部
●創刊55周年記念特別セット…………□セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の３冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

LION MAGAZINE IN JAPAN
August 2012, Vol.55 No.2

We Serve CONTENTS

■2012年8月号
表紙
ウェイン・A・マデン国際会長夫妻

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

MESSAGE FROM THE PRESIDENT

「奉仕の世界」へ飛び出そう！

私たちは韓国･釜山での国際大会を終えたばかりです。今回の大会は大成功を収め、史上最大のものとして記録されることになるでしょう。会員とゲストを合わせた登録者数は5万5千人を超えました。ジュンユル･チョイ元国際理事とすばらしいホスト委員会の皆さん、この大会の実現に向けた過去5年間のご尽力に心から感謝致します。

ライオンズクラブ国際会長としての1年を前に、世界最大の奉仕組織を代表する機会を与えてくださった世界全136万人のライオンにお礼を申し上げます。私にとって、この挑戦は決して軽々しいものではありません。一人ひとりが国際協会のために全力を尽くしてこそ、今年度を更なる成功の1年へと導くことが出来るでしょう。

ライオンズの歴史に刻まれるこの1年、そして「奉仕の世界」に足を踏み出すに当たっては、好調なスタートを切ることが大切です。私の出身地をご存じの方も多いと思いますが、アメリカ・インディアナ州には「インディ500」というオートレースがあります。私はその熱烈なファンとして、今年度を度々インディ500の走り方になぞらえることになるでしょう。どんなレースでも、勝利を収めるにはスタートが大切です。また、時々ピットに停車して進行状況を評価することも必要です。

もちろんチームワークが不可欠であり、ゴールに行き着くための地図や計画についても同様です。したがって、各クラブでは青写真としてクラブ優秀賞を活用してください。そうすれば、チームワークによって確実かつ容易に成功を勝ち取ることが出来るはずです。

今号のライオン誌で私の会長テーマを一読すればお分かりのように、その重点の一つは識字率の向上にあります。世界の非識字率は4人に1人と言われていますが、ライオンズはこの現状を変えることが出来ます。例えば、朗読コンテストを主催すること、学校で週に1時間児童との音読会を開くこと、放課後に地元の図書館で読書会を行うことなど、さまざまな取り組みが可能でしょう。その際にはぜひ、クラブの識字率向上活動をリーディング･アクション･プログラム（RAP）ビデオに収めてください。2分間のビデオをウェブサイトに掲載するだけで、各クラブの取り組みを世界中の仲間たちに紹介出来ます。

今年はクラブ会長を始め、可能な限り多くの皆さんにお会いしたいと考えています。そのため、世界中のさまざまなフォーラムに出席し、多くの複合地区を訪問し、あるいはフェイスブックを閲覧するつもりです。クラブや地区は各地域社会の改善に向けてさまざまな事業を行っていますが、その多様性はいつも私を驚かせてくれます。これからもすばらしい活動を続けるために、今すぐエンジンを響かせ「奉仕の世界」へと飛び出そうではありませんか！

Wayne A. Madden

2012-13年度国際会長
ウェイン･A･マデン

THEME

釜山国際大会

第95回国際大会は6月22日から26日まで、韓国・釜山で開催された。登録者約5万5千人と史上最大規模となった大会には、日本からも5千人を超える参加があり、世界のライオンズと交流した。

取材／鈴木秀晃・河村智子

パレードの先頭は世界のレオが一緒に行進

マデン新会長の地元インディアナのライオンズ

インターナショナル・パレードを締めくくったのは、コース沿いのごみを集めながら歩くホスト委員会のメンバーたちだった

胸を張って堂々と行進をするテキサスのライオンズ

第1回総会のハイライト「フラッグ･セレモニー」

第1回総会（開会式）で年次報告を行い、最新の植樹本数を発表したタム国際会長。100万本の目標に対し、それをはるかに上回る1,321万1,348本という植樹数に参加者から大きな歓声が上がった

人道主義大賞を受賞した中国障害者芸術団と会場が一体となって『ウィ・アー・ザ・ワールド』を合唱（第3回総会）

大会の主要行事が行われた釜山国際展示場（BEXCO）

世界保健機関(WHO)事務局長マーガレット・チャン博士による基調講演(第2回総会)。最後はラップを披露し会場を沸かせた

人道主義大賞を受賞した中国障害者芸術団の聴覚障害者による舞踊「千手観音」(第3回総会／写真上も)

第2回総会で東日本大震災に対する支援について感謝の言葉を述べる宮田謙332複合地区議長

開会式前のパフォーマンス

釜山国際大会は参加者数が、韓国最大のコンベンションとして認定された（第1回総会）

国際第2副会長に選出されたライオンプレストン

プレストン第2副会長候補者の応援デモンストレーション

就任演説をするマデン新国際会長

テヨン·キム新国際理事（韓国）

武久一郎新国際理事（日本）

ユイタイ·チャン新国際理事（台湾）

新国際会長宣誓式

国際会長の言葉に続きガバナーとしての宣誓をして「エレクト」のリボンを外し、晴れて新年度の地区ガバナーに就任

登録者5万5千人を超えた ライオンズ史上最大の大会

最も近い国の日本に最も近い都市で

韓国第2の都市釜山は、対馬海峡を挟んで下関、福岡から200キロ足らず。福岡空港からは飛行時間30分と、あっけないほどの近さだ。古来、日本と朝鮮半島を結ぶ交易の要であった釜山で、第95回ライオンズクラブ国際大会は開かれた。大会の主会場となった釜山コンベンション・エキシビション・センター（BEXCO）は、韓国有数のビーチ・リゾートとして知られ、更に近年の韓流ブームで注目が高まる釜山国際映画祭の舞台でもある海雲台（ヘウンデ）エリアにある。BEXCO周辺のセンタム・シティーは、世界最大面積を誇る大型百貨店や高層ビルが建ち並び、今なお開発が進行中。BEXCOもつい先日、拡張工事を終えたばかりで、大会サービス・センターと展示場はその真新しい新館に設けられた。

大会サービス・センター内のフードコート

大会の開幕を華やかに飾るインターナショナル・パレードは、海雲台のヨットハーバー付近からビーチに向かう海岸沿いの約2・5キロのコース。大会ピンにデザインされた広安大橋と斬新なデザインのビル群を背景にしての行進だ。

昨年のシアトル国際大会では、アメリカ各州が登場させる趣向を凝らしたフロートや、ライオンズがスポンサーをするオールステーツ・バンドがパレードを盛り上げたが、今回はフロートがなく、バンド数も少なくて、全体に単調だった印象。そんな中で、2012～14年国際理事候補者の武久一郎の応援に、地元徳島から参加した2組の阿波踊り連が、観衆を大いに沸かせた。1700人が参加した日本は、複合地区ごとに隊列を組んで行進。パレード・コンテストでは阿波踊り連でエントリーした均整行進隊部門と、ユニフォーム部門の両方で、第1位に輝いた。

パレードの最後尾は地元・韓国で、1万人を超える長い隊列が延々と続いた。今大会の登録者数は約5万5千人。うち韓国が約4万2千人と8割近くを占め、日本からの登録者も約5200人と前回の4倍に上った。日本に迫る勢いで会員数を伸ばす韓国ライオンズの勢いを示すかのように、今年に入って伝えられた事前登録者数は3万人、4万人と膨らみ続けて、これまで最も多かった2002年大阪国際大会の4万9千人を抜いて大会史上最多の登録者を集めた。

「今日そして明日の奉仕」セミナー

ゾーン･チェアパーソン･セミナー

ゾーン･チェアパーソン･セミナー

ライオニズムを信じた1年

釜山では6月18日に梅雨入りが発表されたものの、大会期間中は開会式を終えた午後に雨に降られただけで天候に恵まれた。就任以来「I BELIEVE」と唱え続けたウィンクン・タム国際会長の願いが、天に通じたのかもしれない。

タム国際会長は23日の開会式でこの1年間を振り返り、「信じる」ことの強い力を証明してみせた。100万本の植樹キャンペーンでは目標をはるかに上回る1321万1348本という驚くべき数字が報告された。

タム会長は公式訪問で世界中のクラブ会長と直接会い、パートナーシップを強めてきた。その心のこもったスピーチに、また交わした握手の温もりから、誠実な人柄に魅了されたという会員は少なくない。タム会長は会場に向けて「私の家族」と呼び掛けて、共に信じ、歩んだライオンズに感謝の言葉を贈った。

今大会の大きな特徴は、東洋・東南アジア（OSEAL）地域の参加者を意識して用意された英語、日本語、韓国語、中国語の言語別セミナーだ。特に「クラブ・サクセスの秘訣」、「今日

「クラブ・サクセスの秘訣」セミナー

「クラブ・サクセスの秘訣」セミナー

オンライン学習セミナー

ソーシャルメディアにおける成功例セミナー

●日本語セミナー

24日の「クラブ・サクセスの秘訣」セミナーには約100人が参加。後藤隆一元国際理事がモデレーターを務め、高田順一国際理事が「グローバル会員意識調査報告」、松井和子337・A地区ガバナー・エレクトが「女性会員と女性リーダーの育成」、川手寅平330・B地区第1副地区ガバナー予定者が「新しい会員の勧誘」、更に高田国際理事、川手第1副地区ガバナー予定者が「マイクラブ、マイファミリー」のテーマでプレゼンテーション。各発表の後に参加者は数人のグループに分かれて意見を交換した。

翌25日の「今日そして明日の奉仕」セミナーの参加者は約60人。山田實紘元国際理事をモデレーターに、秦従道国際理事が「ITを活用した広域クラブネットワークと災害救援復興活動」、山浦晟暉国際理事が「青少年向けプログラムによる奉仕活動」、河合悦子元330・A地区ガバナーが「障害者福祉の奉仕活動」、宮田謙332複合地区ガバナー協議会議長が「環境保全・保護における奉仕活動」のテーマで発表を行った後、参加者はテーマごとに4グループに分かれてディスカッションが行われた。

そして明日の奉仕」の二つは双方向型のセミナーとして企画され、参加者によるグループ・ディスカッションを交えながら進行した。

通常は英語のみで行われる協議会議長セミナー、ゾーン・チェアパーソン・セミナーにも同時通訳がつき、日本の会員50人余りが参加したゾーン・チェアパーソン・セミナーでも言語別のディスカッションの時間が設けられた。地区の枠を超えてメンバー同士が議論出来る機会は少ないだけに、次年度のクラブ活動に向けて貴重な糧を得たに違いない。

今回はそんな貴重な機会だったにもかかわらず、セミナー会場に足を向けた日本の会員は決して多くはなかった。登録者数では少数派のイベロアメリカ（南米のスペイン語・ポルトガル語圏）のセミナー会場は追加のいすを運び込むほどの盛況で、それに比べれば日本語セミナーの会場はやや寂しく感じられた。

用意された大量のいすの多くが空席だったのは総会の会場だ。今大会は韓国で過去最大のコンベンションとして認定されたが、皮肉なことに、その発表があった開会式後半には会場の3分の2以上が空席になっていた。

総会の同時通訳用に配られたFMラ

ジオから音声が流れないという アクシデントによって、参加者の多くがスピーチの内容を理解出来なかったこともその一因かもしれない。ただ今回、合わせて全登録者の8割を占めた韓国と日本のライオンズの大会参加の姿勢は、代議員数にもはっきり表れていた。

代議員数3149人のうち、国別で最も多かったのはアメリカの575人、次いで日本526人、韓国426人。アメリカは大会登録者の50％以上が代議員だったのに対して、日本は10％、韓国はわずか1％のみだ。ただの物見遊山ではない、大会参加に対する意識の違いが、代議員数の大きな差になって表れた。

次回2013年のハンブルク国際大会の国際第2副会長選挙には、日本から山田實紘元国際理事が立候補する。日本ライオンズ待望の国際会長輩出に向けて、来年の国際大会にどれだけの代議員を送ることが出来るかが、大きな課題となるだろう。

韓国の伝統的な芸能と、K-POPなどが融合したインターナショナル・ショー

国際平和ポスター・コンテスト最優秀賞受賞者によるサイン会

視覚障害児のエッセー・コンテスト最優秀賞受賞者から作品を手渡してもらう参加者

「奉仕の世界」の先頭を走る

第3回総会（閉会式）は新国際会長の就任式とスピーチ、新国際理事の発表に続き、地区ガバナーの就任をもって閉会するのが恒例。胸に着けた「エレクト」のリボンを外す地区ガバナー誕生の瞬間を祝おうという参加者たちで、閉会式を控えた会場はどこか浮き立った雰囲気になる。

その会場は閉会式が始まって間もなく、大きな感動に包まれた。式では中国の鄧樸方氏及び中国障害者芸術団に2012年人道主義大賞が授与され、障害の有無を超え、その芸術性で高い評価を受けている芸術団の舞踏や歌、演奏がライオンズを魅了した。2004年のアテネ・パラリンピック閉会式、05年香港国際大会開会式など世界各地で公演された聴覚障害者による舞踊「千手観音」に今大会でも喝采が送られ、最後は会場が一つになって「ライオン・スピリット」の歌声が響いた。

人道主義大賞の授与を終えると、タ

ム会長としての役目は、新国際会長に国際会長の指輪と槌を引き継ぐ就任式を残すのみ。選挙結果の発表を受けて、歓声に応えるマデン新国際会長（アメリカ・インディアナ州）のかたわらで、タム会長は重責を負えてほっと安堵したような、それでいて少し寂し気な笑顔を浮かべていた。

マデン新会長のテーマは「奉仕の世界」。かつて自ら教師を務め、また教師を妻に持つことから、識字率の向上や読書を推進するキャンペーン「リーディング・アクション・プログラム」を掲げ、世界中のライオンズに参加を求めた。更に、このプログラムを始めとするライオンズの奉仕の姿をツイッターで発信しようと呼び掛けた。その風貌からはちょっと意外に思われるかもしれないが、新会長はソーシャルメディアを駆使する一人だ。

最終日の朝、投票用紙を受け取るための手続きをする日本からの代議員

ジャパン・レセプションでタム国際会長から激励を受ける武久国際理事候補

2012年OSEALフォーラム開催地、福岡のPRブース

コンベンション・センターに設置されたメッセージ・ボード

2013年ハンブルク国際大会のPRブースに設置された顔ヌキ

「奉仕の世界では、一人の人間が変化をもたらすことが出来ます。歴史を変えた人々、マハトマ・ガンディー、マーティン・ルーサー・キングを始め多くの例があります。だからこそ私は、一人の人間が他者の人生に前向きな変化を与えることが出来ると、皆さんを勇気付けるのです。その証しを私はライオンズクラブ国際協会の歴史にも見ることが出来ます」

マデン新会長は就任スピーチでこう語り、「数だけでなく、その活動において世界ナンバー1の奉仕組織になろう」と、奉仕の世界で先頭に立つ決意を表明した。

大きな体躯に大きな奉仕の心を宿したマデン会長は、地元インディアナ州のカーレース、インディ500さながら、高らかなエンジン音と共に新年度のスタートを切った。

地区ガバナー・エレクト・セミナー

2012年6月19日～22日　韓国・釜山

マデン新国際会長の激励に大きな拍手でこたえる日本の地区ガバナー・エレクト

アメリカ・インディアナ州出身のウェイン・マデン国際会長は、ライオンズの成功をカーレース、インディ500になぞらえる。レースの勝利にはドライバーの技術と努力、マシンの入念な準備、そして息の合ったピットクルーのチームワークが欠かせない。19日開会式に始まった4日間の地区ガバナー・エレクト・セミナーでは「献身＋準備＋チームワーク＝成功」、という勝利の方程式が示され、その実践に必要なさまざまな課題を学んだ。

世界の753人（男性600人、女性153人）のガバナー・エレクトは使用言語ごとに28グループに分かれて研修する。グループ5の日本は後藤隆一元国際理事がグループ・リーダーを務めた。グループごとのセッションには「クラブ・サクセスの追求」「委任の技術」「対立の解消」など地区ガバナーに必要なスキルを身に付ける課題が組まれている。同じ日本の中でも地区によって組織や慣習は大きく異なり、他地区との情報交換は大変有益なものとなったようだ。更に他グループとの合同セッションでは、テキサス、コロラドなどアメリカ6州とイギリス、トルコなど多国籍のグループ4と共にディスカッションを行い、夫婦や子どもと共に在籍する会員がクラブに何組もいるという、日本には類のない例や、少人数クラブの支援という共通の課題が話し合われ、通訳を介するのがもどかしそうな程だった。

2012・13年度は日本に3人の女性地区ガバナーが誕生する。グループ内のセッションで特に議論が盛り上がったテーマは、日本の大きな課題である若手と女性の会員増強及びリーダーの育成だった。地区役員をローテーションで決める弊害に悩む地区がある一方、若手会員の参加意識を高めると共に、リーダーの発掘・育成に戦略的に取り組む地区の事例も紹介された。「変えていけるかどうかは、皆さんのリーダーシップに掛かっている」。後藤リーダーの言葉はそれぞれの胸に重く響いたはずだ。

毎朝最初に開かれる全体セッション

「対立の解消」のセッションでは、「協調的なアプローチの手順」について状況設定を話し合い、ロールプレイで実践してみた

グループ4との合同セッションでは「指導力育成」「クラブ役員の教育と育成」「女性と若手の会員増強」のテーマで議論した

日本語クラスの後藤隆一グループ・リーダー

各種結果

投票結果

■国際会長　ウェイン・A・マデン（アメリカ・インディアナ州オーバーン）

■国際第1副会長　バリー・J・パーマー（オーストラリア・ニューサウスウェールズ州ノースメイトランド）

■国際第2副会長　ジョセフ・プレストン（アメリカ・アリゾナ州デューイ）

■2012～14年国際理事17人中、OSEAL地域からの当選

武久一郎（日本／336複合地区）

ユイタイ・チャン（台湾／300複合地区）

テヨン・キム（韓国／354複合地区）

■国際付則第11条第7項改正案　可決

人道主義大賞

人道主義的な試みを達成した人に贈られる、協会で最も栄誉あるライオンズ人道主義大賞。2012年は鄧樸方氏及び中国障害者芸術団が受賞。第3回総会で行われた授賞式で、タム国際会長がライオン像と今後の活動資金として25万ドルを贈呈した。

奉仕大賞

奉仕に対する誠実な信念を体現しているライオンやレオをたたえる「奉仕大賞」の受賞者の表彰が、第2回総会で行われ、タム国際会長から盾と賞状が手渡された。最優秀賞は逃したが、日本からは最優秀ライオンにライオン宮田謙（332複合地区議長／岩手県・盛岡ライオンズクラブ）が、最優秀長期環境プロジェクトに335・B地区（大阪府、和歌山県／津田祐司地区ガバナー）がノミネートされた。

■最優秀ライオン＝ジャック＆ワンダ・タナカ（ダイヤモンド・バー・ブレークファスト ライオンズクラブ／アメリカ・カリフォルニア州）

宮田謙332複合地区議長

■最優秀レオ＝ジュリー・リン（バンクーバー・ウエスト レオクラブ／カナダ）

■最優秀青少年プログラム＝イスタンブール・アルチョル ライオンズクラブ（トルコ）

■最優秀食糧支援プロジェクトまたはアクティビティ＝303地区（中国・香港）

■視聴覚障害者のための優れたアクティビティ＝381地区（中国）

■最優秀長期環境プロジェクト＝ボウイー ライオンズクラブ（アメリカ・メリーランド州）

津田祐司335-B地区ガバナー

2011年度国際コンテスト

四つの分野における努力と創造性を世界の仲間と共有することを目的とした国際コンテスト。各部門の1位は左記の通り。

■ニュースレター：クラブ＝モンクレア／エルムウッド・パーク ライオンズクラブ（アメリカ・イリノイ州）／地区＝107・G地区（フィンランド）

■交換ピン：クラブ＝サンフランシスコ・チャイナタウン ライオンズクラブ（アメリカ・カリフォルニア州）／地区＝30・M地区（アメリカ・ミシシッピ州）／複合地区＝25複合地区（アメリカ・インディアナ州）

■友好バナー：クラブ＝オツモエタイ ライオンズクラブ（ニュージーランド）／地区＝A・5地区（カナダ）

■ウェブサイト：クラブ＝モンクレア／エルムウッド・パーク ライオンズクラブ（アメリカ・イリノイ州）／地区＝16・B地区（アメリカ・ニュージャージー州）／複合地区＝35複合地区（アメリカ・フロリダ州）

インターナショナル・パレード・コンテスト

6月23日に行われたインターナショナル・パレード・コンテストの第1位は左記の通り。日本は均整行進隊、ユニフォームと2部門受賞。

▼第1部

■フロート＝なし

■バンド：カテゴリー1 高校生バンド＝354～356複合地区（韓国）／カテゴリー2 州選抜バンド＝なし

■均整行進隊＝330～337複合地区（日本）

■ユニフォーム＝330～337複合地区（日本）

▼第2部

■バンド＝13複合地区（アメリカ・オハイオ州）

■均整行進隊＝105複合地区（イギリス諸島及びアイルランド）

LCIF表彰

25日に行われたMJF昼食会で表彰式が行われ、日本からは2011年度に300％MJFを達成した名古屋サウス、名古屋本丸の両クラブと、200％MJFの4クラブ、100％MJFの8クラブが表彰を受けた。また、ヒューマニタリアン・パートナーシップ（累計10万ドル以上献金した個人）としてライオン秦三郎（福岡玄海ライオンズクラブ）にブロンズのピンが贈られた。ライオン秦は更に、同日開催されたLCIFスペシャル・レセプションで、長年のLCIFへの貢献によりフレンド・オブ・ヒューマニティを受賞した。

環境写真コンテスト

全世界の複合地区レベルで選ばれた優秀作品が国際大会サービスセンターに展示され、大会参加者による投票が行われた。今年度の特別テーマは「未来を守る木々」で、地域での木の姿や重要性を捉えた写真。

■最優秀賞＝ジェローム・W・ウォルター（アメリカ）

■景観＝バーブナ・ショダーン（アメリカ）

■動物＝デブ・モウジャ（アメリカ）

■植物＝マルシア・ガスリー（アメリカ）

■気象現象＝ダイアン・ホイト（アメリカ）

■特別テーマ＝カート・ケリー（アメリカ）

国際理事活動報告

国際理事としての2年間の回想記

山浦晟暉（2010〜12年国際理事／東京新宿）

●2010年6月、オーストラリア・シドニーで開催された第95回国際大会で2010〜12年国際理事に就任させて頂き、日本ライオンズ及び東洋・東南アジアの代表としてその重責を感ずる中、初年度は1年先輩の不老安正理事とご一緒に「希望の光（Beacon of Hope）」をテーマに掲げるシド・スクラッグス国際会長の下、LCIF執行委員会と奉仕事業委員会に所属致しました。

●私は奉仕事業委員会において、21世紀を担う我々の子孫が将来、健康で幸せな人生を送るためには二酸化炭素削減の環境問題と、薬物乱用防止の「ダメ。ゼッタイ。」運動を全世界のライオンズが推進すべきと強く訴えました。その結果、この運動を全世界ライオンズに向け発信することが承認されました。各国の温度差があり、まとめることは大変難しいと痛感しましたが、この1年理事の提案に理解を示しご協力くださった委員会メンバーに感謝しました。

●折しもこの期、3月11日、未曾有の東日本大震災が発生し、即刻、不老理事・八複合議長と共にLCIF指導の下、東日本大震災復興支援対策本部を設置しました。その後、国際本部と連絡を取り合い、発生当初から2期にわたり1年余り、時には夜半までまさに寝食を忘れ支援対策に奔走しました。日本ライオンズ連絡事務所職員の応援協力にも感謝‼

●この災害に対し、全世界のライオンズは即刻「今度は日本に恩返しする時だ」と動き、台湾・韓国・ドイツ・オランダ・アメリカ他各国から多くの支援物資や2100万ドルにも上る献金が寄せられ、被災地に送らせて頂きました。これらを通し、メンバーの強い絆、そしてLCIFの存在感を痛感させられました。

●就任2年目のシアトル国際大会では我がアジアの香港からウィンクン・タム国際会長が就任され、「己を信じ、勇気を持って決断し実行するならば、何事も目的を達成出来る」と、「I BELIEVE〜信じる」と強調されました。100万本目標の植樹も最終的には1300万本以上を達成しました。タム国際会長の東日本被災地視察には東日本大震災復興支援対策本部長を拝命した私も随行し、被災地状況を把握し、その後の支援対策強化の参考とさせて頂きました。

●この2年間、シド・スクラッグス、ウィンクン・タムという二人の偉大なる国際会長と出会い、そのすばらしいリーダーシップ、そして「ウィ・サーブ」に対する情熱、ライオンズの未来発展に向けての展望等、ライオンズ・スピリットの原点を学ばせて頂きました。

●私がこの2年間で多くの国々を訪問すると共に、国際理事会で強く感じたことは、日本ライオンズの意見・主張を世界に広めるためには、日本から国際会長を輩出せねばならないということです。世界のライオンズは奉仕に評価の高い日本からリーダーが出ることを期待しています。来年のハンブルク国際大会では、日本から立候補する山田實紘元国際理事の国際第2副会長選出を実現させようではありませんか。1人でも多くの代議員の大会参加を切望致します。

●目の色・髪の色は違っても、地域社会や弱き立場にある人々を助けようという愛情あふれる心を持つ多くの国際理事と出会い、自国の奉仕活動やライオンズの将来を語り合い、友情の絆を深め、有意義な2年間を送らせて頂きました。釜山ではこれらの友人理事と惜別の日を迎え、次なるハンブルクでの再会を誓いつつ、フィナーレを迎えました。今後はクラブに帰って一メンバーに戻り、過去の経験を生かして微力ながら自クラブはもちろん、地区そして日本ライオンズ発展へのアドバイザーとして、後進育成に少しでもお役に立てればと思っております。今後共、皆様方のご支援ご指導よろしくお願い申し上げます。大変お世話になりありがとうございました。

2012-2013年度国際会長テーマ
国際会長 ウェイン・A・マデン
LIONS
L
IN A WORLD OF
SERVICE

奉仕の世界

助けを求める声の尽きない世界で、援助の手を差し伸べる人がいます。困難の尽きない世界で、寄り添う人がいます。災害で打ちのめされた世界で、救援に当たる人がいます。読み書きの出来ない人々がいる世界で、教える人がいます。奉仕の世界で、ひときわ輝く名前――それがライオンズクラブ国際協会です。奉仕こそ私たちが行うことであり、これまでずっと行ってきたこと。奉仕こそ私たちのモットーであり、私たちが存在する理由なのです。

私はアメリカの中西部にあるインディアナ州で育ちました。大小さまざまな川、農場や村落、屋根付橋やプラタナスの木、多くの学校や一流の大学があり、秋の収穫が今もっていちばん重要な年間行事の一つである地域。何より、今なお隣人のことを気に掛ける人々が住んでいる地域です。私はここで、地域社会の役に立つことの大切さを学びました。

しかし、世界中を見て分かるように、飢餓の問題や、特に若者たちの活躍の機会がますます少なくなっているといった新たな課題に私たちの地域社会は直面しています。そしてこういった問題に対するニーズがますます大きくなっているにもかかわらず、供給源は減少するばかりです。確実に私たちの奉仕はこれまで以上に必要とされているのです。

私同様インディアナ州の方、あるいは世界のどこかの献身的なライオンであれば、素知らぬふりをしてはいられないはずです。心が広く、思いやりの深いライオンズは、識字の問題や本棚が空っぽといった問題を放っておくことが出来ない人たちです。それが、ライオンズで対処出来るものであればなおさらです。

だからこそ、今年度私が掲げるテーマ「奉仕の世界」は、私たちの奉仕の世界を誇るだけではありません。新たな課題に取り組むべく立ち上がり、私たちのインパクトが及ぼす範囲を広げるよう、ライオンズに呼び掛けるものなのです。

会員の増加とクラブの強化が必要です。その方法は、これもまた、インディアナ州出身という私のルーツにちなんだものですが、世界的に有名なインディアナポリス500マイルレース（インディ500）にヒントを得ています。F1レースのファンであろうとなかろうと、時に時速200マイル（約320キロ）を超えるスピードで走る車が事故を起こさず完走し、勝てるようにするための献身、準備、そしてチームワークがいかなるものかは、誰もが理解出来ると思います。

レースで成功を収めるチームは、念入りに立てた作戦を用い、勝つための方程式をひねり出します。私が考える勝利の方程式は、献身＋準備＋チームワーク＝「優秀」です。

クラブレベルから地区ガバナー・チーム、国際理事会、執行役員に至るまで、私たちは、他者に奉仕することを目的に力を合わせる、135万人以上から成る一つのチームです。効果的なチームであるためには、チームの各メンバーが個々の役目を果たしながら、一体となって取り組まなければなりません。チームのメンバー一人ひとりが同等に重要なのです。

国際会長
ウェイン･A･マデン

全ては奉仕への献身で始まる

ライオンズは献身的に奉仕を行います。献身的な奉仕での知名度は、青少年の参加促進（8月）、視覚障害者援助（10月）、食料支援（12月と1月）、環境保全（4月）といったグローバル奉仕実施キャンペーンの継続から、1億5千万人の子どもたちをはしかから守るためのビル＆メリンダ・ゲイツ財団との新たなパートナーシップによる取り組みに至るまで、私たちの活動全てにおいて役立つはずです。

この他に私は、識字率を高め、読書を推進するための「リーディング・アクション・プログラム」という、年間を通してのキャンペーンへの参加をライオンズに呼び掛けていきます。

奉仕は私たち一人ひとりから始まることを忘れずに

ライオンズの会員とクラブこそ、国際協会の根幹であり、奉仕という私たちの伝統を受け継いでくれるのです。

私たちはただ奉仕するのではなく、情熱を込め献身的に奉仕します。なぜなら私たちは他者を思いやるからです。

私たちが奉仕するのは、他者の役に立つという責任があることを心得ているからです。思いやりとは、他の誰かの境遇を理解し、進んで手を差し伸べようとすることです。ライオンズは相手の立場に立って物事を考えます。

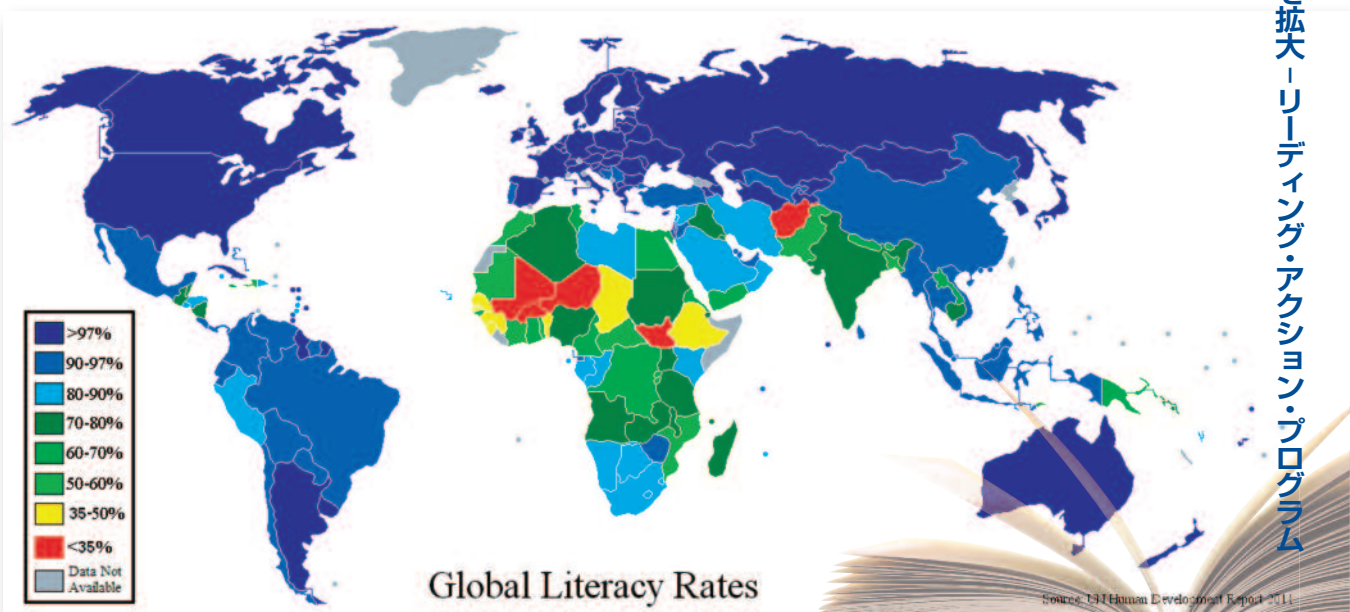
私たちが行う数々の事業とは別の、ちょっとした善意の行動も、そのタイミングによってはこの上ない大きな意味を持つことにもなるのです。話し相手になってあげたり、包容力をもって接したり、似たような問題を克服した時の経験を分かち合ったり、代わりに用事をしてあげたり、車で送り迎えしてあげたりすることは、皆さんが出来ることのほんの数例です。

私たちのインパクトを拡大－リーディング・アクション・プログラム

教育こそが、人間の潜在能力を引き出す鍵です。教育は地域社会に力を与え、人々に自らの将来を形成するのに必要な自信を与えるのです。

多くの専門家が、貧困の連鎖の元凶である教育の欠如の改善に重要な役割を果たすのは、国連を始めとするボランティア組織である、との見解を示しています。

教師を妻に持つ元教育者として、私は教育を重視しており、読み書き出来ることこそ教育の基盤だと見なしています。これこそ世界中の人々にライオンズが贈ることの出来るプレゼントなのです。

「識字」の世界的な基本定義は、自分の

名前が書け、10歳レベルの文章が読めることです。しかし、この基本定義を当てはめた場合でさえ、読み書きの出来ない人は世界で10億人近くに上ります。これは世界中の成人人口の26％に当たり、4人に1人は読み書きが出来ないことになります。

しかもこれは発展途上にある地域固有の問題ではないのです。私の国アメリカでも、7人に1人は看板に書かれていることを辛うじて読めるといった事実上の非識字者であり、字が全く読めない人は2100万人もいるのです。

こうした状況を覆すには、教育を受けられない子どもたちに手を差し伸べる必要があります。

リーディング・アクション・プログラム

では皆さん、識字問題に取り組むべく、「リーディング・アクション・プログラム（RAP）」に早速取り掛かる準備が出来ていますか？ ライオンズはさまざまな形で地域社会に奉仕することが出来ます。以下を検討するとよいでしょう。

- 課外リーディング・プログラムを設置する
- 地域の図書館で子どもに読み聞かせを実施する
- 地域の学校に連絡を取り、どのような支援が出来るか尋ねる
- 地域の学校や図書館に書籍やコンピューターを寄付する
- 地域の学校を通じて個人指導のボランティアを行う
- 地域の識字専門家や機関と協力する
- 点字識字率の向上に取り組む

（事業案などについては「リーディング・アクション・プログラム」ガイドラインをご覧ください）

また、クラブ独自の企画を立てることも出来るでしょう。どのような方法で取り組むにしろ、後手に回らず、先を見越した取り組みをしてください。

「リーディング・アクション・プログラム」アワード

オンライン・アクティビティ報告システムを通じて読み聞かせや他の活動を報告した各クラブに、特別にデザインされた「リーディング・アクション・プログラム」クラブ・バナーパッチが贈られます。

少なくとも50％のクラブが識字関連プログラムに参加した地区のガバナーには、その成果をたたえ、「リーディング・アクション・プログラム」賞が贈られます。

また、クラブがスポンサーした識字関連プログラムに参加した生徒や大人に贈呈する修了証書やしおりをダウンロード出来るよう、国際協会のウェブサイトにはロゴが掲載されています。

ラップ（RAP）ビデオを制作しよう

有意義なことをしながら楽しむ方法を一つご紹介しましょう。各クラブで「リーディング・アクション・プログラム（RAP）」ビデオを作ってみてはどうでしょう。レオクラブをスポンサーしているクラブであれば、これは楽しい共同事業となるはずです。ビデオの長さは2分以内のものとし、どのようにして子どもたちを読み書き出来るようにさせるかをテーマとしたものでなければなりません。ビデオはライオンズクラブ国際協会YouTubeチャンネルを通じて提出することが出来ます。1位に選ばれたビデオは、ドイツ・ハンブルクにおける国際大会の総会で上映され、そのビデオを制作したクラブには特別なアワードが贈られます。

準備こそが優秀を目指す私たちの方程式の重要な鍵

献身だけでは成功はもたらされません。クラブも地区も絶えず準備が整っていなければなりません。準備とは計画をすることであり、それには自己評価が必要となります。

F1レースをレース場やテレビで見ていて、先頭を走っている車が突然側道に入って行くのはなぜだろうと思ったことはありませんか?

これは「ピットストップ」と呼ばれるもので、燃料補給やタイヤ交換をし、手早く車の整備をして車が最高の状態でレースを完走出来るようにするための時間なのです。

日々の活動に追われてしまうと、会員増強計画の進捗状況を見直して確認することや、必要に応じて努力を注ぐ方向を変えることが時には必要であることを忘れがちになります。

力強いクラブ作りと会員増強－「優秀」を目指す

力強いクラブ構築を目指すに当たり、クラブに適切な人材がそろっているかどうかを考えてみてください。

女性は国際協会で最も急成長を遂げていますが、私たちの道のりはまだ長く、レースが終わるには程遠いのです。

それゆえに私は、増え続ける女性会員と家族会員についての進路を計画し、そして何よりこれらの会員がチームにおける要員として参加していることを確認するため、昨年度導入された女性及び家族会員タスクフォースを今年度も継続します。

会員を更に増やしクラブと地区を一層強化するため、今年度4回（3カ月ごとに1回）の「ピットストップ」をするよう、全てのクラブと地区にお願いします。そして、クラブのニーズ、会員のニーズを評価し、見直すために使ってください。入会したばかりの会員がいる場合には、クラブに完全に溶け込み、アクティビティに参加しているかを確認し、彼らの懸念や提案等に耳を傾ける絶好の機会となるでしょう。

クラブと地区が利用出来る「ピットストップ」チェックリストを用意しました。国際協会ウェブサイトから入手出来る、使いやすいポケットガイド形式のものもあります。年度の途中で、目標に向かって順調に進んでいるかどうかを確認してください。優秀であることを目指してレースを進める上で、自己評価は生産性も高めてくれます。

変化をもたらす者となるよう、全てのライオンに呼び掛ける

優秀であることを追求していくに当たり、奉仕という私たちの伝統を全てのライオンズに受け止めて頂きたいのです。ライオンズの創始者メルビン・ジョーンズや、「盲人の騎士」となるよう呼び掛けたヘレン・ケラーなど、他者への奉仕は私たちの礎となってきました。こうした伝統は95年後の今も続いており、災害援助、貧困や飢餓との闘い、環境保全、視覚障害者支援などの分野におけるライオンズの奉仕を広げ、はしかや子どもの死亡率といった新たな課題に取り組んでいく上で最も重要なものとなっているのです。奉仕こそ、私たちの使命であり、存在意義を与えてくれるものです。そして尊敬され高く評価された団体として私たちを定義付けるものです。私たちはいつまでも私たちの伝統を忠実に守っていきます。

誇るべき過去

しかし、伝統を尊重することは変化を受け入れてはいけない、ということではありません。世界は常に変わり、進歩を続けています。それに歩調を合わせ、これからも何百万もの困っている人々に違いをもたらそうとするのであれば、私たちも共に進歩しなければなりません。今年度は、クラブ改善を追求し、新たな運営方法や新しい伝統を常に前向きに受け入れるよう、各クラブに取り組んで頂きたいのです。それにうってつけの方法の一つは、地区で行われるクラブ向上プロセス（CEP）ワークショップへの参加です。

クラブ会長の皆さん、私は昨年度始まった新しい伝統「会長同士の対談」プログラムを通して、皆さんのご意見も伺いたいと思っています。クラブ会長と直にコミュニケーションを取ることほど、クラブのニーズ、そして変化し続ける世界にクラブがどのようにして対応しているのかを把握するのに最適な方法は考えられません。これは本当の意味で有意義な伝統です。今年度、私は可能な限り多くのクラブ会長とお会いするつもりです。

明るい未来

未来は今ここに

成功を目指して邁進するに当たり、忘れてならないのは、私たちの未来は今ここにあるということです。ライオンズを担う次世代のリーダーは私たちの周り――レオクラブ、高校、大学にいるのであり、彼らを探し出して育てる必要があります。そこで、地域の青少年の活動などに関与し、青少年が成し遂げたことをたたえるよう、全てのクラブにお願いします。レオクラブを現在スポンサーしていないクラブは、レオクラブのスポンサーとなることを今年度の目標の一つとしてください。

地域の青少年の参加を促しましょう。クラブの奉仕活動に参加するよう若者に呼び掛け、活動の計画過程において積極的に関わらせるのです。地元の学校で地域社会奉仕を推進するのです。

ライオンズはチームワークの大切さを知っている

最後に、私たちはチームとして協力せねばなりません。チームワークは、独創性を促し、メンバー一人ひとりに等しく貢献の機会を与えるものです。一見個人競技のように見えるカーレースでも、統制のとれたクルーチームの支援なしにレーサーが成功を収めることは決してありません。チームの一人ひとりが自分の才能を持ち寄り、それらを一つにして用いる時、誰にも負けない存在となるのです。ライオンズ・チームは、与え、耳を傾け、友情を育み、達成するチームであるべきです。

更には、変わり続けるこの世界において私たちの組織を発展させ、チームを前へと導いていくためにはバトンを渡すことの出来るリーダーを見極める必要があります。

優れたリーダーシップは私たちの未来にとって極めて重要であり、その出現を運に任せてはいられません。そうではなくライオンズは、国際協会の数多くの指導力育成の機会を利用することでリーダー発掘を促すことが出来ます。こうした機会についてオンラインのリーダーシップ情報センターをご覧

ください。また忘れてならないのは、グローバル指導力育成チーム（GLT）リーダーがいつでも手を貸すということです。指導力育成に献身的に取り組んで頂くことで、国際協会は、必要とされている奉仕を世界中で効果的に行い続けることが可能となるのです。入念な準備を重ねるインディ500のレーサー同様、研修と育成に投資することで、勝者の栄光を得ることが可能となるのです。

協会のチームワークとリーダーシップは、グローバル会員増強チーム（GMT）とグローバル指導力育成チーム（GLT）により、今やこれまで以上に強く結び付けられており、この両チームが一体となって会員増強と新たな指導者育成を継続して行うための体制を作り出しています。

これはクラブに利益と成功をもたらすために国際レベルと会則地域レベル、複合地区レベル、そして地区レベルとをつなげるチームであり、GMTとGLTのメンバーが力を合わせ、現在と未来のライオンズ・リーダーを特定・育成し、研修の機会の活用を奨励すると共に、奉仕と積極的な参加を通じた会員増強に取り組みます。

ライオンズクラブ国際協会は多数のチームで構成されており、クラブ・レベルから地区及び複合地区のレベル、そして国際理事会及び執行役員に至るまで、全てのチームが力を合わせ、奉仕を行う力を強化しています。

他のチーム・メンバーの知識を利用すると同時に、ご自身の特別なスキルを進んで分かち合ってください。皆さんのクラブや地区のチームの中にはコンピューターに詳しいメンバーがいるかもしれません。その人からコンピューターの使い方を学んで腕を上げることほど良い方法はありません。

成功への更なる二つの鍵

コミュニケーションの技術ほど世の中で目まぐるしく変わっているものはありません。いかなるクラブや地区も効果的にコミュニケーションを取ることなく成功することは出来ません。そして効果的なコミュニケーションには準備を要します。過去10年間、私たちの暮らしでこれほど変化を遂げてきたものは他に思いつきません。新たな時代のコミュニケーションはペースが速く、絶えず変化を続けています。変わりゆく世界で意思の疎通を図りたいと願うのであれば、私たちが変化をもたらす者となり、新しい考えに耳を傾け、さまざまな人々とつながるための方法

に目を向ける必要があるのです。

Eメールやフェイスブック、その他のソーシャルメディアを使ってネット上でやり取りしているのは若者だけだと思ったら、それは間違いです。最近の調査で、ネット上でのやり取りに最も時間をかけている年齢層が、実際は45歳から50歳であることが分かりました。電子コミュニケーションは、世界中の人をリアルタイムでつなげる最も効果的な手段をもたらしているのです。

ライオンズの会員やクラブ、地区、複合地区も、インターネットの利用をますます拡大しています。オンライン上でのイメージ作りと広報活動が出来る能力は不可欠です。

昨年度、ライオンズクラブ国際協会はオンライン・コミュニティーの包括的な調査を行い、特によく使われているソーシャルメディア・サイトを介して内外両方の対象を引き付ける方法を調べました。この調査で、世界中でますます多くのライオンズがソーシャルメディアを使ってさまざまな人とつながっていること、そしてクラブの奉仕活動をPRしていることも分かりました。

私たちは今、インターネットを通じてライオンズ同士互いにつながることはもとより、会員となる可能性のある人々をオンライン上での会話に加えて彼らとつながることにおいても、驚異的な前進を遂げています。

今年度、ライオンズクラブ国際協会は世界規模のインパクトを更に拡大するに当たり、引き続き会員、そして一般の人々とつながる方法を広げていきます。

LCIF－私たちの奉仕の世界の「土台」

ライオンズクラブ国際協会の公式チャリティー組織であるライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）は、ライオンズによる地域と世界規模の人道奉仕活動に交付金を提供して、ライオンズの善意の活動を支援しています。

また、他の組織とも提携して、更に多くのことに取り組んでいます。ビル＆メリンダ・ゲイツ財団は、はしかから子どもたちを守るために1千万ドルを集めるようライオンズに呼び掛け、ライオンズが2ドル寄付するごとに1ドル上乗せし、総額５００万ドルのマッチング寄付をすることを約束しています。これは単独の寄付としてはＬＣＩＦ史上最大のものとなります。

ＬＣＩＦはさまざまな交付金プログラムを通して年間何百万ドルもの資金援助をする他、世界中の若者への奉仕というライオンズの使命を積極的に支援します。ライオンズクエスト・プログラムはＬＣＩＦが青少年のために設けている最も総合的なプログラムです。１９８４年以来、１２００万人以上の青少年がこのプログラムを通して有益なライフスキルを教わりました。ライオンズクエストは、幼稚園児から高校3年生までの青少年が能力を養い、健全に育って立派な大人に成長出来るよう、家庭、学校、地域社会を結束させるものです。

ライオンズクエストとＬＣＩＦのおかげで、世界中の親たちは、子どもたちが日々直面する複雑な問題にうまく対処しながら、成長していく上で必要な技能を身につけるという確信を持つことが出来るのです。

ライオンズ－スタート・ユア・エンジン

インディ500のハイライトの一つは、レースが始まる直前の、アナウンサーが「ドライバー、スタート・ユア・エンジン」と合図する時。観衆は、レースが始まるのを今か今かと歓声を上げ始めます。

カーレース同様、私たちが95年目の奉仕の年を開始するに当たり、良いスタートを切ることが重要です。しかし、私たちの年度、そして他者への奉仕は、1周すれば終わるレースではないことも忘れてはなりません。成功を収めるためには、忍耐力とスタミナと用意周到な計画が必要となります。

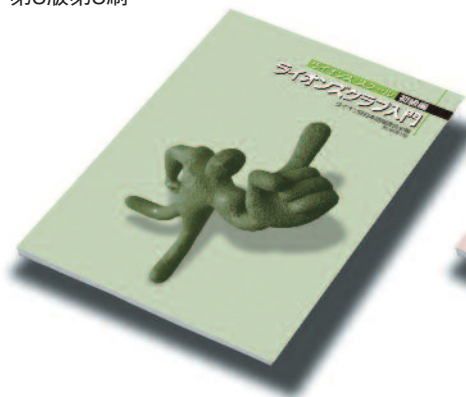
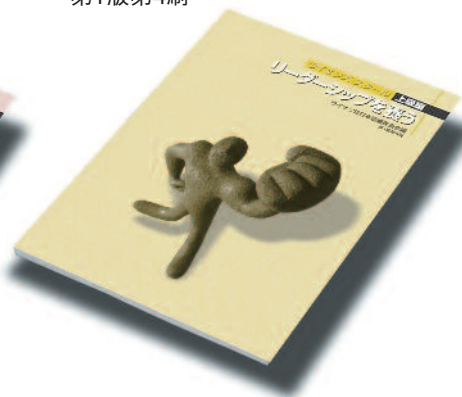
私たちライオンズは他者への奉仕で世界中に知られています。何百万という人々が読み書きが出来ない、書物やその他の読み物を手に入れることが出来ないといった問題を、ライオンズは見て見ぬふりをしたりしません。私たちは、お腹を空かせたまま登校する子どもや、全く学校に行くことが出来ない多くの子どもがいる世の中で暮らしています。災害にいつ見舞われるか分からない世の中で、予防が出来るのに視力が失われている世の中で、そして貧困に苦しんでいる人々が1億人以上いる世の中で暮らしているのです。

だからこそライオンズが、これからも「奉仕の世界」で先頭に立ち、インパクトを拡大させることが不可欠なのです。

私たちにこれが出来るでしょうか？　この挑戦を受けて立つ気概があるでしょうか？　もちろんですとも!!!　しかし、世界各地に本当の意味での違いをもたらし続けるためには、協会のチーム全体、つまり世界に4万6千以上ある全てのクラブが、それぞれ極めて効率よく活動することが必要です。背景や文化は異なれど、私たちには共通の目的があります。それは「われわれは奉仕する」。つまり、チームワークなのです！　だからこそ、奉仕の世界でライオンズが先頭に立つのです。

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズスクール・シリーズ

初級編・ライオンズクラブ入門
第3版第3刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

中級編・クラブ運営の基礎知識
第3版第2刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

上級編・リーダーシップを養う
第1版第4刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100〜499部350円／500部以上300円

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jpあてにご注文ください。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門…………　部
●クラブ運営の基礎知識…………　部
●リーダーシップを養う…………　部
●創刊55周年記念特別セット…………　セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の３冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

アメリカ・インディアナ州の田舎町から国際的な舞台へ

素朴な新会長が奉仕の価値と身近な視点をもたらす

文／ジェイ・コップ

マデン会長夫妻は家族のことを心から誇りに思っている。娘のジュリーとティム夫妻の間に生まれた孫、マイルス、マックス、そして娘ジェニファーとマイケル夫妻の方の孫、ローラン、ダニエル、オーウェン

いたずら好きの人気者

アメリカ・インディアナ州北西部にあるオーバーンシティ・ハードウェアの経営者ロバート・コーケンジは、オーバーン生まれで、隣に保険代理店を構える親しい友人から届いたポストカードを誇らしげに飾っている。ウェイン・マデン新国際会長が、ライオンズクラブの国際理事や執行役員として訪れた旅先から出したものだ。カードには滞在先と近況、そして最後にいつもの冗談が添えられている。

「裏には決まって『送金してくれ』と書かれているのです」

古くからの友人たちによれば、マデン会長は初対面では静かで控えめに見えるが、実は親しみやすい人物だ。オーバーンの朝食会「ライヤーズ（嘘つき）クラブ」で旧友をからかうなど、いたずらを仕掛けたり人を驚かせたりする機会はまず逃さない。オーバーンライオンズクラブのテール・ツイスターだった時には、「大胆にも地元新聞に取り上げられた」という理由で仲間たちにファインを課した。二人の娘が幼かった頃には、母親の買い物中に、2メートル近い巨体を洋服掛けの中に隠して子どもたちを喜ばせたこともある。

その一方で、ライオンズの活動には深い尊敬と称賛の念を抱き、国際会長としての自らの責任を重く受け止めている。オークブルックの国際本部の2階には歴代国際会長の写真が飾られ、その中にはインディアナ州出身の初代会長ウィリアム・ウッズ博士（1917・18年度）や、同じくエド・ペイン元会長（42・43年度）もいる。自分がその仲間入りをしたとは信じられないように、マデン会長は首を振り、手にした機会の重みに声を詰まらせる。

「インディアナの田舎町の人間が世界的な組織の指導者になるなんて、誰が想像したでしょう」

人口1万3千人のオーバーンはのどかで素朴な、典型的なアメリカの町だ。年に1度、クラシック・カーの展示会が開かれ、人口が20倍にも膨れ上がる時期を除いては。

しかしオーバーンの人々はそうした華やかさに幻想を抱いているわけではない。この町での楽しい一夜の過ごし方を尋ねると、マデン会長は「フォートウェイン（アレン郡の中心都市）まで車で出かけることですよ」と答える。

世界大恐慌に苦しんだ彼の父親は疲れを知らない働き者で、一人息子と二人の娘の教育に力を入れた。専業主婦の母親は家を磨き立て、親類が立ち寄れば必ず喜んで迎え入れ食事を出した。

少年期のマデン会長はリトルリーグに加わり、オーバーン ライオンズクラブが建てた美しい野球場でプレーした。高校ではバスケットボールもやった。その身長を見れば容易にうなずける。町では誰もが知り合いだった。彼は当時からひとかどの人間になりたいと思っており、また抜け目がなくトラブルを回避する能力も備えていた。高校時代の親友マーティ・ヴァン・ルーベンは振り返る。

「彼は頭が良くて、手本になるような存在でした。それに先生に隠れて何かをする時も尻尾をつかまれることはありませんでした」

バスケットボール仲間だったヒュー・テイラーも、こう付け加える。

「ウェインは人気者で、みんなに好かれていました。彼を嫌っていた人なんて思い付きませんよ」

人を思いやる力

マデン会長が初めてリンダ夫人を見かけたのは、ティーンエージャーの集会でビリヤードをしている時だった。残念ながら彼の友達の話では、既に恋人がいるとのことだった。それから半年後、バスケットボールの試合で体育館のスタンドに座っていると、向かいの観客席に彼女の姿を見つけた。この時会長の隣にいた女友達が彼女と知り合いだと言うので、「今夜YMCAのダンスパーティーで会ってもらえないか」と伝言を頼んだ。それは最高学年の半ばを過ぎた頃のことで、リンダ夫人は1級下だった。

「彼女はとても快活で、話しやすくて気さくな人でした」

と会長は言う。一方のリンダ夫人は、二人の価値観に共通点が多いことに心を打たれていた。

「彼が家族を大切にしていることはすぐに分かりました。自分の家族でも私の家族でも分け隔てなく」

二人ともマンチェスター・カレッジに進み、マデン会長の卒業後まもなく結婚した。

マデン会長が大学4年生だった68年

Wayne Madden　Timeline

1950

ちっちゃなウェイン

4歳の頃の写真。お母さんの大切な一人息子

1958

フィールド･オブ･ドリーム

ライオンズが建設した野球場でプレーするリトルリーグ時代のウェイン

1964

コートの中の田舎者

愛するインディアナでバスケットボールに興じる

1967

家族

家族の強い絆の中で成長した。左からウェイン、姉妹のデビーとダイアン、そして両親

1968

ウエディング･ベル

リンダとウェインは永遠の愛を誓った

1975

ロックオン

ウェインはプルデンシャル生命で11年間保険を販売。左は上司ピート・スミス

1985

起業

ウェインはオーバーンに自身の保険代理店を構える

1987

教育を重視

2人の娘ジェニファー（赤いガウン）とジュリーはそれぞれ大学まで進学した

1998

オーバーンでの獅子吼

社会への恩返しをしようとライオンズに入会し、さまざまな活動に取り組む

2002

ボランティア

他者への支援に積極的なウェイン

の春、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師が構内で演説を行った。オーバーンにはアフリカ系アメリカ人がおらず、公民権運動やスラム街の貧困の現実を突き付けられたのは初めてだった。キング牧師は「私には夢がある」の一節や、山の頂や最終的な自由について語った。牧師が亡くなったのはその1カ月後だ。キング牧師はマデン会長の良心を揺さぶった。

「あの時代から生まれたものは、アフリカ系アメリカ人以外にも恵みをもたらしました。私たちはライオンズとして、万人に教育を受ける権利があることを知るべきです。人間は誰しも、予防可能な失明によって苦しむべきではありません。全ての児童は教室で黒板を読めるべきであり、保護者がそうさせてやれないなら、ライオンズが手を差し伸べなければなりません」

大学卒業後、マデン会長は高校で教鞭をとり、5年後、教職を辞すると翌日からプルデンシャル生命の保険外交員として働きだした。そしてそれは人生の転機となった。

「新しい仕事は直接人々と向き合い、保証された給与を受けることなく自分の腕一本で生計を立てるものでした」

マデン会長はプルデンシャル生命で11年間保険を販売した後、オーバーンで保険代理店を購入した。

プルデンシャル時代の上司ピート・スミスは言う。

「保険販売には対人能力が必要です。相手を心から思いやり、それを相手にも分かってもらわなければなりません。ウェインにはその力がありました」

オーバーンでの一家の生活は順調だった。マデン会長はスポーツが好きで、バスケットボール・チームを応援したり、フットボールの試合を観戦したりしている。州都で行われるインディ500（毎年開催されるオートレース）は67年から見に行っている。

リンダ夫人は教職に就いた。ジェニファーとジュリーの姉妹は成績も良く、マーチングバンドに参加したり、弁論大会で入賞したりしたこともある。マデン家では子どもたちとの生活を大いに楽しんだ。休暇には遊園地に出かけジェットコースターに乗ったり、泳ぎを楽しんだりした。クリスマスなどの祭日や誕生日を盛んに祝った。ジェニファーは次のように述べている。

「スポーツの試合でもバンドのコンサートやリサイタルでも、私たちの参加する行事には必ず両親の姿がありました。そして大抵の場合、家族全員を引き連れてきて観客席の一角を陣取っていました」

一家では教育も重視された。ジュリーによれば、父親からはよく、「成功(success)が努力(work)より先に来るのは辞書の中だけだ」と言われたそうだ。

ジェニファーは大学時代にワシントンで実務研修の機会を得た時にも、父親に驚かされたことがある。

「ワシントンで飛行機を降りると父が待っていました。父を見てあれほどうれしかったことはありません。初めての土地への不安が和らぎました」

奉仕の世界を築くために

マデン会長は家族を心から大切にすると同時に、地域社会に貢献し、その恩に報いたいと考えていた。

プルデンシャル生命のスミスは、ラ

オーバーンの友人の店で地元のニュースを仕入れるマデン会長

イオンズやその他の市民団体をいつも盛んに褒めていた。リンダ夫人の父親も、近隣のウォータールーでライオンズクラブの会長を務めたことがある。だから84年にオーバーン ライオンズクラブから手紙が届いた時、彼は招請を受け入れることにした。

マデン会長によると、ライオンズクラブが毎年、高校生に奨学金を提供していることは知っていたが、彼の知識はその程度だった。また、「入会から数年間は必ず出席すべきだということも分かっていなかった」と述べている。

しかし、クラブの仲間たちの記憶はそうではない。56年以来の会員、ヒューバート・スタックハウスは語る。

「ウェインは最初から熱心でした。クラブは彼の影響で、地区、州、国際レベルの活動にも熱心に取り組むようになりました。視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）に大々的に参加したのも彼の指導です」

マデン会長をライオンとして決定付けた瞬間は、入会から丸10年経った95年に訪れた。ホンジュラスへの眼鏡派遣団に参加した時のことである。

「障害を持った青年が眼鏡テントにゆっくりと近づいてきて、私にサングラスはあるかと尋ねました。手元にあったのは安価な少し蛍光の入ったサングラスでした。彼はそのサングラスをかけて満面の笑みを浮かべました。奉仕が誰かを喜ばせたと知った時、私たちは真のライオンになるのです」

ライオンとしてのもう一つのハイライトも、やはり視力に関するものだ。99～01年の国際理事として訪れたテネシー州では、ライオンズが児童の視力検査プログラム「オペレーション・キッドサイト」で成功を収めていた。それを知った彼は数年後、インディアナ州にこれを導入した。

「オペレーション・キッドサイトはライオンズクラブにとって完璧な事業です。それはウェイン・マデンが構想を練り、確固たる基盤に基づき発足させたことで実現されました」

と語るのは、フォートウェイン・セントラル ライオンズクラブのデイブ・フィアンド元国際理事だ。

マデン会長はオーバーンで培った共同体意識、キング牧師が貫いた他者への真摯な思いやり、田舎町のライオンズクラブが掲げる恩返しの精神に立ち返り、国際会長として奉仕を最優先していく考えだ。

「奉仕の世界では、子どもたちを空腹のままベッドへ行かせてはなりません。人々を予防可能な失明に陥らせてはなりません。HIVの母親から生まれたアフリカの子どもたちは保護を受けるべきなのです」

オーバーンを遠く離れた旅の中で、マデン会長は世界に散らばるライオンズに多くの共通点があることを学んだ。

「世界中を旅して回ると、協会がさまざまな意味で大きな組織であることが分かります。オーバーンにあるような個々のクラブと、207カ国に暮らすメンバーが、驚くほど多様で、各地域社会のさまざまなニーズを満たしています」

マデン夫妻はずっと年を取ってからも、オーバーンで家庭を営み続けたいと考えている。ライオンズの意欲喚起に全力を尽くしたら、会長は再びライアーズ・クラブに戻ってコーヒーと朝食を楽しむつもりだ。

「ただのウェイン爺さんに戻り、昔と同じような扱いを受けるのが楽しみです。そこにはからかい合いながらも、互いが成し遂げたことをたたえ、誇りに思う仲間たちがいるからです」

でもそれはまだ先のこと。

今年度早期にマデン会長は、インディアナ州のライオンズが取り組んでいるホンジュラスでの白内障手術の支援を行う

新国際理事抱負

ライオンズクラブの理解を深める

招請された多くの新会員は、ライオンズクラブ国際協会のモットーである「ウィ・サーブ」に共感して入会されていると思われます。とはいえ、ライオンズクラブの組織や機構などについて、入会当初はほとんどお分かりになっていないでしょう。しかし、新しく入られた会員の中には、忙しくて新会員オリエンテーションに参加出来ない方も多く見られます。何も分からないうちに委員会に所属し、例会に出席してもあまり面白くない、しかも奉仕活動が自分が思っていた方向と異なる、などが退会の要因につながると考えます。入会したクラブが自分の思っていたものと違うならば、そのギャップを埋める努力をしなければなりません。そのためには親しい間柄の先輩（メンター）がしばらくの間懇切に説明し、理解を得、また新会員の思いを受け止める必要があるでしょう。

真摯な奉仕活動を通じた
ライオンズクラブの活性化

■武久一郎（たけひさ・いちろう）

1934年生まれ。医療法人一洋会会長、社会福祉法人光風会理事長。77年徳島城山ライオンズクラブチャーター・メンバー、80年度クラブ会長、09年度336-A地区ガバナー、10年度336複合地区ガバナー協議会議長。11年度336複合地区東日本大震災支援委員会顧問。

私も入会当初はほとんど何も分からず、先輩ライオンの教えを胸にライオン生活を送っていました。幸い、私の周りには当時、博学で真剣にライオンズ活動に取り組んでおられる先輩が大勢いらっしゃり、恵まれていたと思っております。

新会員の方々も委員会委員や委員長、クラブ理事、クラブ幹事などに任命されるに従い、必要な知識が得られ、ライオン生活を満喫出来るようになるでしょう。私もクラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区ガバナー、複合地区ガバナー協議会議長に就任するに従い、新しい知識を得、見聞を広め、視野が広がってきました。

奉仕活動こそがライオンズの原点

日本のライオンズクラブ、会員はここ数年間減少の一途をたどっています。一向に歯止めがかからないようです。このところ日本は（諸外国もそうかもしれませんが）社会の変容が目まぐるしく、かつてのようにゆったりとした時間が流れず、せかせか、ばたばたしているように感じられます。日本のライオンズはこうした変化にうまく順応出来ていないのではないかと考えます。

国際協会は社会の変容に合わせ、さまざまな施策を打ち出しております。これらの施策が全てそのままぴったりと日本に合致するかどうかは分かりませんが、少なくとも施策の基本を守りつつ、日本の状況に合わせるべく提言しながら実行していくことが求められています。そして各ライオンズクラブも社会の変容に合わせ、進歩していくことも必要でしょう。

昨年の東日本大震災後、遅々として進まない復興の中で、被災地のライオンズクラブが積極的に新会員を増強しつつ活発な活動を続けておられることに、深い敬意を表するものであります。目的意識を一つにした奉仕活動、これこそがライオンズクラブの原点であり、日本中のライオンズクラブが参考にすべき点が多々あると考えます。

ウェイン・A・マデン新国際会長は「奉仕の世界」を国際会長テーマに掲げ、奉仕への献身を呼び掛けていらっしゃいます。その強力なリーダーシップの下、国際理事会では会則及び付則委員会に所属し、またLCIF執行委員会の副委員長を務めることとなりました。多くの国際協会役員や職員の方々の知遇を得、更に勉強を重ねて、理事としての職責、任務を全うしたいと思っております。皆様の更なるご理解、ご提言、ご協力を、心よりお願い申し上げます。

ガバナー協議会議長紹介

抱負、方針、重点課題などを伺った。

略歴は所属クラブ、ライオンズ入会年、主なライオン歴、職業、年齢の順。
経歴及び本文中で使用している略語：CM＝チャーター・メンバー

330複合地区議長　河合　悦子

かわい　えつこ：東京みやこライオンズクラブ。88年東京櫻ライオンズクラブCM。02年転籍。93、03年度クラブ会長。10年度330・A地区ガバナー。遠水興業㈱取締役。77歳。

この度、330複合地区ガバナー協議会議長にご推薦頂き、心より感謝申し上げます。

複合地区協議会議長と致しましては、全日本女性初となりますことも大変光栄に存じますと共に、その責任の重さも痛感しております。

東日本大震災支援、会員維持、会員増強他、あまたの問題を抱える日本のライオンズクラブですが、議長として3人の地区ガバナーと共に、地区の調整と団結を育み、他複合地区との強い連携、絆により、国際協会の目標推進に努め、ライオンズクラブの明るい未来そして繁栄のために最善の努力を尽くしたいと思います。

332複合地区議長　田畑　英伍

たばた　えいご：宮城県・仙台五城ライオンズクラブ。71年入会。87年度クラブ会長。10年度332・C地区ガバナー。㈲田畑会計事務所代表取締役。75歳。

東日本大震災復興活動に対し、LCIF及び全世界、全日本のライオンズクラブの皆様より、多くの支援を頂きましたこと、改めてお礼を申し上げます。332複合地区は、被害が甚大であった、B、C、D地区を抱えており、各地区の現状と言えば、がれき処理が遅々として進まず、雇用や心のケアの問題等があり、今後の道のりは、かなり険しいものと危惧しております。このような復興半ばの状況を鑑み、複合地区スローガンを「愛深く　復興信じて　ウィ・サーブ」と致しました。これを柱に、復興に向け複合地区の結束力を強化し、その実現に向けて邁進して参ります。皆様のお力添えをお願い申し上げます。

331複合地区議長　中嶋　辛

なかじま　しん：北海道・室蘭北斗ライオンズクラブ。85年入会。01年度クラブ会長。11年度331・C地区ガバナー。㈲宝実代表取締役。68歳。

この度、331複合地区協議会議長にご推挙賜り、身に余る光栄に存じます。この重責に身の引き締まる思いでおります。

東日本大震災から1年が経ちましたが、いまだに十分なめどが立っていない状況です。被災された方々には復興に向け力強く歩んで頂きたいと念じています。当複合地区としても惜しみない支援をして参ります。

私共331複合地区は北の都・札幌を中心に3地区に分割されていますが、それぞれの特徴を生かし、仲良く「心の調和」を大切に複合地区運営に取り組んで参る所存であります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

333複合地区議長　高田　浩

たかだ　ひろし：千葉県・柏グリーンライオンズクラブ。80年CM。83年度クラブ会長。09年度333・C地区ガバナー。美好屋高田㈱会長。69歳。

この度は333複合地区議長にご推挙頂き、身に余る光栄に重責を痛感しております。

東日本大地震では自宅や会社を津波で流され、身内や友人を失い、失意の中にあったメンバーに、ライオンズの奉仕が生きる力を与えました。また献身的に地域のために尽くすメンバーの姿が人々の共感を呼び、東北地方の全ての地区で会員増となり、今も高いレベルで進行中です。今こそ奉仕の輪を広める時です。

5準地区共通課題に関し融和・協調・啓発し合うことで、より大きな力とし奉仕の更なる高みを目指します。複合地区と日本ライオンズ発展のために最善の努力を致します。

2012-13年度 330～337複合地区

330～337複合地区ガバナー協議会議長に

334複合地区議長　杉浦　均

すぎうら　ひとし：愛知県・豊橋中ライオンズクラブ。83年CM。97年度クラブ会長。11年度334・A地区ガバナー。㈱サンコー代表取締役社長。72歳。

この度は334複合地区ガバナー協議会議長にご推挙頂き、その重責に身の引き締まる思いであります。

国際協会の基本的活動方針に従い、複合地区内のライオンズクラブの融和協力を図り、複合地区の円滑な運営を目指します。

近年、ライオンズクラブは会員の減少と高齢化に悩んでおります。若い会員の入会促進が急務であります。それには若者にとって、魅力のある奉仕活動が不可欠であります。

地区内5人のガバナーと知恵を出し合い、ライオニズムの高揚に尽力致して参ります。複合地区スローガンは「奉仕の世界は熱い情熱と固い絆から」です。

336複合地区議長　寺越　愼一

てらこし　しんいち：広島平和ライオンズクラブ。82年入会。97年度クラブ会長。11年度336・C地区ガバナー。㈲寺越コンピューター会計事務所代表取締役。64歳。

この度、336複合地区協議会議長にご推薦を賜り、身に余る光栄であり、その重責をひしひしと感じております。

日本のライオンズクラブでも、大変厳しい経済環境の下、会員減少でさまざまな問題を抱え、また昨年の東日本大震災を受けライオンズの存在について、改めて考え直すべき時にあります。このような中、336複合地区4人のガバナーと共に、知恵と汗を出し合い、複合地区発展のため、全力投球で職責を全うする所存です。

また、武久一郎国際理事のホスト複合地区としての責任を全うして参りたいと思いますので、どうか皆様、ご支援ご協力よろしくお願い致します。

335複合地区議長　奥村　啓二

おくむら　ひろじ：京都淀ライオンズクラブ。77年入会。88年度クラブ会長。10年度335・C地区ガバナー。三晃グループ代表取締役会長。77歳。

335複合地区475クラブ、1万4200人（3月末）、1クラブ平均30人。この原因は世界の現状を見れば一目瞭然。特に我が国は災害国と指名されても不思議ではない。

議長は国際理事会の一般的監督の下に複合地区の責任者となる。また準地区間の調和と団結を育み、問題解決に当たって地区ガバナーに助力するとある。335複合地区充実発展のため、全力で努力する。特にGLT（指導力）、GMT（会員増強）、クラブサクセス、女性会員増強委員会等に協力を呼び掛け、伝統ある335複合地区をV字回復させなければならない。その先導役として重責を果たすべく努力することを誓う。ご支援ご協力を切にお願い申し上げる。

337複合地区議長　澁田　繁晴

しぶた　しげはる：福岡県・飯塚ライオンズクラブ。81年入会。96年度クラブ会長。02年度337・A地区ガバナー。㈱シブタ商会代表取締役会長。71歳。

来る11月、日本では仙台に続き7年ぶりとなる福岡フォーラムが開催される。東洋・東南アジア域内が一層の交流を深め、奉仕の士気を高めると同時に、その成功によって長引く日本ライオンズの停滞を打破し、再生のバネとしたい。「九州・沖縄は一つ」の結束の成果が問われる重要な年度であり、身の引き締まる思いである。各複合地区議長には格段の理解と協力を期待し、フォーラム成功に向けて尽力する。

5人の地区ガバナーとの融和と協調・結束を図り、東日本大震災への支援には引き続きその痛みを共有し、復興の道筋に何が有効なのか誠実に検討し協力して参りたい。

■国際理事
秦　従道
（宮城県・仙台コア）

釜山国際大会、国際理事会報告

6月23日のインターナショナル・パレードで事実上の幕を開けた第95回ライオンズクラブ釜山国際大会は、史上最多の約5万5千人の登録者を集め盛大に開催された。

パレードは好天に恵まれ、日本からは1700人が参加。その人数にも関わらず整然と行進した日本の行進団は、随行した芸術性の高い阿波踊り集団と共に高い評価を受け、均整行進隊とユニフォームの2部門で第1位となった。そのパワーは沿道の参観者にも好印象を与えたことだろう。

今大会で特に印象に残ったのが、ウィンクン・タム国際会長の大成果だった。植樹100万本の目標に対して実に1320万本という結果は驚くべきものである。地球の自然環境に対する貢献度も大なるものがあるだろう。

創意と工夫で好印象を与えた開会式、第2回総会、閉会式のセレモニーと共に、24、25日の両日に開催された対話型日本語セミナーも意義深いものだった。「クラブ・サクセスの秘訣」「今日そして明日の奉仕」他、いずれも参加者の熱気とディスカッションで、実りある結論を導いたと思う。

また22日に開かれたレオ・ライオン・サミットでは、質疑応答が容易になるように日本語、韓国語、中国語の通訳も完備されており、国際本部の気配りも感じられた。

26日の閉会式では国際会長、国際第1、第2副会長、国際理事の選挙の代議員投票結果が発表され、OSEAL推薦のライオン武久一郎は、ライオンテヨン・キム（韓国）とライオンユイタイ・チャン（台湾）と共に堂々の当選を果たされた。心からお祝いを申し上げる。

さて、大会直前の第4回国際理事会では種々の事項が討議されたが、特に印象に残ったのは2日目の全理事によるブレーンストーミングだ。異なる会則地域出身の理事数人が1グループとなり共通のテーマで議論し合うことは、それぞれの地域の共通点、異なる点などが浮き彫りにされ、実に興味深く意義深いものであった。貴重な体験と言うべきだろうか。

大会終了後の第1回国際理事会では最後にすばらしい出来事があった。

全ての日程の終了間際、私が所属する大会委員会のロブレスキー委員長から、午後に全理事を集めた会合が開かれることが告げられた。席上、2013年国際大会で投票が行われる国際第2副会長候補として、山田實紘元国際理事を推薦する動議が出されるので、セカンドを出すようにとのことだった。勇んで午後の会議に臨んだところ、それはまさにライオン山田のための会合だった。冒頭、執行役員会でライオン山田の推薦が決まったと報告があり、執行役員らの支持スピーチの後、高田国際理事が推薦の動議を出し、私がセカンドを出して審議に入り、全員一致で国際第2副会長候補として指名承認された。

誠に喜ばしいことであり、34年ぶりの日本人国際会長の実現へ大きく近付くことになった。しかし今後は現在以上に日本からの継続支援活動の盛り上がりぶりを世界にアピールすることが必要となり、かつハンブルク国際大会への代議員参加大動員が望まれるところだ。

私も大会委員会の一員として最善の努力をしていく所存である。

ライオンズニュースカセット

NEWS CASSETTE

フェスティバル参加者で描いた「絆」の人文字

被災小学校の子どもたちを元気付けたスポーツフェスティバル

5月26日、東日本大震災の津波で校舎を失った宮城県仙台市の荒浜小学校、東六郷小学校、中野小学校、被災した岡田小学校、友情参加の加茂小学校の児童と保護者計約200人が参加した「復興支援〜ライオンズ・スポーツフェスティバル」が、332・C地区(宮城県/中嶋慶次地区ガバナー)主催で開かれた。この企画は昨年12月、地区若手会員増強委員会(佐藤靖記委員長)が開いた若手会員及び女性会員フォーラムの、復興をテーマにしたアクティビティ企画検討ワークショップで、「被災小学校は寄留先の校庭が狭く運動会が出来ない。場所を提供し複数の学校の児童を集めて合同運動会をしては」と提案されたもので、同委員会が具体化し実現させた。参加者はニュースポーツのキンボール、ドッチビー、ボッチャや、定番の玉入れ、綱引きを楽しんだ他、バスケットボールの練習では仙台エイティーナイナーズの男子プロ選手2人がダンクシュートを披露して子どもたちを喜ばせた。会場は津波で大きな被害を受けたキリンビール仙台工場の提供で、大学生ボランティアも協力した。

「子どもたちの一生懸命にがんばる姿と笑顔に、ライオンズが勇気と元気をもらったアクティビティでした。参加メンバーからは『企画して良かった』『また開催したい』の感想を頂きました。開催にご尽力頂いた関係者の皆様に心から感謝申し上げます」と、松田弘美副委員長。

2011・12年度末世界と日本の会員数

国際本部集計によると、2011・12年度末の世界の会員数は134万7454人で、年間5858人の純増となった。今年度もインドが順調に会員を増やし、1万1497人純増の21万6188人。一方、本国アメリカは1万4557人の純減で34万7170人だった。OSEAL地域を見ると全体では3016人の純増だったが、日本は1810人純減の10万1781人、韓国が1983人純減の8万1354人と、トップ2が大幅減。5124人純増の中国1万4926人、1254人純増の台湾3万6841人などに助けられた形だ。また、日本のクラブ数は年度内の結成19に対し解散51クラブで年度末3225クラブ。残念ながら05・06年度から続くクラブ減少傾向を覆すことは出来なかった。そんな中、複合地区別では、東日本大震災で大きな被害を受けている332複合地区が44人増え、唯一純増を遂げた。

世界の女性会員は1万3207人純増で32万5775人（会員全体の24・2％）となった。日本は266人純増の1万1457人（11・3％）。確実に上昇を続けているが、まだまだ開拓の可能性を残している。

日本の国際理事の所属委員会

6月26日、釜山国際大会の閉会直後に開かれた2012・13年度最初の国際理事会において、各委員会の構成が発表された。日本の2年目理事、秦従道国際理事は国際大会委員会の副委員長を、高田順一国際理事は会員委員会の委員長を務め、1年目理事の武久一郎国際理事は会則及び付則委員会に所属し、LCIF執行委員会の副委員長を務める。また、今年度は二つの特別委員会が設置され、女性及び家族会員タスクフォースに高田順一国際理事が、ライオンズ倫理コンプライアンス及びガバナンス・ワーキンググループに後藤隆一元国際理事が配属された。

山田實紘国際第2副会長候補者の執行役員、国際理事推薦が決定

釜山国際大会終了後の6月27日午後、マデン国際会長が召集した執行役員と国際理事の会合において、2013・14年度国際第2副会長に立候補した山田實紘元国際理事（岐阜県・美濃加茂ライオンズクラブ）を推薦する協議が行われた。会合では日本ライオンズや山田候補者に期待する意見が出た後、高田順一国際理事から山田候補者を推薦する動議が出され、全員一致でこれを決議した。これにより山田候補者は執行役員と国際理事全員の推薦を受けた国際第2副会長候補となった。日本ライオンズ悲願の2人目の国際会長誕生に向けて大きく前進したことになる。

過去に国際副会長を務めた日本の会員は、1978・79年度国際第3副会長に立候補、当選し、1981・82年度国際会長に就任した故村上薫（福岡舞鶴ライオンズクラブ）と、1987・88年度国際第3副会長に立候補、当選し、国際第1副会長任期中の89年に死去した故小川清司（東京渋谷ライオンズクラブ）の2人で、山田候補者が副会長に就任すれば日本から3人目、東洋・東南アジア（OSEAL）地域からは6人目となる。

2013・14年度国際第2副会長の選挙は、2013年7月5日〜9日にドイツ・ハンブルクで開催される第96回国際大会で実施される。

国際大会への代議員派遣が少ない東洋・東南アジア諸国

6月26日、釜山国際大会の登録者数は5万5356人。国別では地元の韓国が最多の4万1711人、次いで日本5168人、台湾1846人。また大会最終日の投票のために資格審査を受けた代議員総数は3149人で、アメリカが575人、日本526人、韓国425人だった。国別の登録者数、代議員数は別表の通り。登録者に占める代議員の割合はアメリカが5割、インドが4割を上回ったのに比べ、登録者数で圧倒的多数の東洋・東南アジア各国はいずれも代議員が少なく、日本も1割だけだった。

●釜山国際大会登録者数／代議員数（6月25日現在）

	登録者数	代議員数
総数	55,356人	3,149人（補欠87人）
韓国	41,711人	425人（1人）
日本	5,168人	526人（14人）
台湾	1,846人	37人（0人）
中国	1,522人	65人（0人）
アメリカ	1,140人	575人（19人）
インド	856人	356人（5人）

グッドスタンディングのクラブは会員25人ごと及びその過半数の端数ごとに代議員1人及び補欠1人を大会に派遣する資格を持ち（25人未満のクラブも代議員1人及び補欠1人を派遣可）、仮に日本の会員数を25人で割ってみると、派遣出来る代議員数は4千人を超えることになる。

332・D地区ガバナー紹介

332・D地区（福島県）の杉本一十士ガバナー・エレクトが6月に急逝されたことを受けて、国際理事会はライオン坂本勇を地区ガバナーに任命した。

District 332-D　坂本　勇

さかもと　いさむ：福島県・いわき中央ライオンズクラブ。72年入会。95年度クラブ会長。05年度ZC。07年度地区ガバナー。木版画工房版幺洞代表。81歳。

次期ガバナー予定者、ライオン杉本一十士が国際大会出席を待たずに急逝し、本人はどんなにか無念、残念であったろうと思う。計画性、実行力のある人物で、キャビネット運営に期待していたので、残念でならない。ライオン杉本の遺志を継いで地域に密着した奉仕活動を展開し、クラブの活性化を目指す。仲間と共に奉仕出来る喜びと誇りを胸に日々活動していきたい。東日本大震災で被災した仲間も多く、お互い助け合ってがんばっていきたい。仲間の会員は財産で、多ければ多いほどより良い奉仕につながる。会員拡大に尽力していきたい。

グローバル奉仕実施キャンペーンに参加を

国際協会は2年前から、特定の期間に共通のテーマを掲げてアクティビティを企画する「グローバル奉仕実施キャンペーン」を実施してきた。四つの分野に焦点を絞って世界中で多くの人々の生活を改善しようというこのキャンペーンに、ウェイン・マデン新国際会長は今年度も引き続き各クラブに参加を呼びかけている。

8月＝青少年の参加促進　レオや地域の青少年を招いて奉仕事業の企画や実施に参加してもらう

10月＝視覚障害者援助　視力保護事業を計画して視覚障害者に手を差し伸べる

12月／1月＝食料支援　飢えや食料不足で困窮している人々に食料を提供する事業を実施する

4月＝環境保全　環境を改善し保護する事業を実施

八複合地区共通の複合地区会則改正案

330～337複合地区の第58回複合地区年次大会に共通提案された複合地区会則改正案のうち、第5条「複合地区ガバナー協議会」、第6条「複合地区連絡会議」、第9条「ライオン誌日本語版」、第15条「地区ガバナー、第1及び第2副地区ガバナー」は全複合地区で可決。第7条「複合地区年次大会」、第20条「地区年次大会」は330、331、332、333、334、335、336の各複合地区で可決、337複合地区では上程されなかった。また昨年度共通提案され、330、331、332、333、336、337の各複合地区で可決された第10条「日本ライオンズ連絡事務所」の改正案が、334、335複合地区で可決された。

横浜の春を彩るパレードでライオンズの奉仕と被災地支援をアピール

5月4日、330・B地区（神奈川県・山梨県／小山正武ガバナー）は神奈川県横浜市の中心部で行われた恒例の国際仮装行列「ザよこはまパレード」に参加、震災復興支援や献血・献眼・献腎・臍帯血提供の支援に関する幟や横断幕でライオンズの活動をアピールした。ゴールデンウィーク中とあって、沿道では観光客や市民ら約34万人（主催者発表）が観覧した。60回目を迎えた今年は、参加各チームが50年代以降の各年代を彷彿させる衣装や音楽で、約3・4キロをパレードした。330・B地区のチームは70～80年代の輝きをテーマにしたブロックで、共に参加した被災地宮城県内のよさこいチームは「復興支援ありがとう!!」のメッセージを掲げて熱演を披露した。

会議録

第3回複合地区IT委員長【ウェブ】連絡会議要録

（5月29日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：太田中、合田光雄、寒河江潤一、山本好男、玉浦巖、各委員長、宮川健一郎両副委員長、藤村貞夫、吉岡

LIONS ON LOCATION 世界で奉仕するライオンズ（『ライオン』誌本部版より）

マラウイ

水供給を改善する種まき

アフリカ南東部に位置するマラウイの首都リロングウェの水源であるリロングウェ川の集水域では水量が低下し、市民に供給される水の質と量に悪影響を及ぼしている。そのためリロングウェ ライオンズクラブは、その地域に2,500本以上の木を植えるプロジェクトを主導した。

「100万本の木を植えようという国際会長の夢を実現するための挑戦であり、気候変動の影響を緩和しようという試みでもあります」とクララ・マルンガ幹事は言う。

ライオンズは二つの学校の生徒たち、天然資源省とリロングウェ水委員会の支援を受けて事業に取り組んだ。クラブでは今後も生徒たちが種をまく活動を続けられるようにしたいと考えている。

スロベニア

実りある木で奉仕を

スロベニアのライオンズは慈善と親善の源となる木々を植樹した。ウィンクン・タム国際会長も参加して、ライオンズはポペトレ村にオリーブ58本を植えた。いずれは、オリーブ・オイルを販売して収益を恵まれない人のために役立てる他、枝は地域での奉仕に用いることにしている。

これらの木はスロベニア国内の55クラブを代表するもので、それぞれにクラブ名を記した名札が付けられている。残る3本はタム国際会長と129地区、129レオ地区の分だ。

スロベニア初のライオンズクラブが結成されたのは20年前。人口200万人の同国の会員数は1,501人で人口に占める比率は高い。ライオンズは特に視覚障害者や青少年、障害者に対して支援の手を差し伸べている。

Photo by Rok Ražman

スペイン

新たな資金獲得方法

海岸沿いの小さな観光都市、テウラダ - モライラでは連日太陽が照りつける。観光客も地元の人々も砂浜に群がり、その多くは引退しているので文庫本は必需品である。そのため、ライオンズは月に2回、本の売店を開くことにした。4年間で2万冊を売り上げ、中には気の利いた顧客が返してくれたために数回売れた本もある。

テウラダ - モライラ ライオンズクラブのピーター・ジョンソンPR委員長によれば、1年中お客が絶えず、非常に優れた収入源となっている。クラブは寄付された本を1ユーロで販売し、現在5千冊の在庫がある。

収益は恵まれない家庭の食料や衣料、眼鏡、医療機器、遊具の購入に役立てられる。クラブでは、盲導犬、がん患者支援団体、家庭内暴力センターなども支援している。

クラブの会員の多くは医師、弁護士、パイロットなどの引退した職業人で、中にはイギリスからの移住者もいる。

稔隆、稲垣昭、出田秀、宇髙昭造、中野正昭各専門委員、神山康徳専門委員代理）

①前回要録の確認②ウェブ会議について③専門部会会則及び内規④議長連絡会議ホームページの更新状況、今後の掲載情報⑤国際協会からの情報配信へのIT委員会のフォロー⑥次年度への申し送り事項

第10回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（5月30日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：小峰理孝、井ノ浦義明、宮田謙、萩原光義、新宅元之、迫越正彦、椿幸雄各議長、宮下満栄副議長、山浦晟暉、高田順一、秦従道各国際理事、山田實紘国際理事会アポインティー）

第Ⅰ部：国際役員との懇談①タム国際会長アワード贈呈式②2012・13年度国際役員の来日予定③その他　第Ⅱ部：議長協議①日本ライオンズ代議員会・ジャパン・レセプション②YCE（YE）に関する実態調査報告（334複合地区提案）③333複合地区東日本大震災義援金関連の報告④各委員会・会議報告の確認　第Ⅲ部：日本ライオンズ連絡事務所運営関係①継続審議事項②財務報告　第Ⅳ部：その他①第51回OSEALフォーラム（福岡）最新情報

第10回東日本大震災復興支援対策本部会議（5月30日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：山浦晟暉、高田順一、秦従道各国際理事、小峰理孝、井ノ浦義明、宮田謙、萩原光義、岡本正治、新宅元之、迫越正彦、椿幸雄各議長、中居雅博、髙橋晴彦、中嶋慶次、久保田善九郎、野川亘各地区ガバナー、山田實紘〈国際理事会アポインティー〉、桜井孝一〈グローバルアシスト・チーム〉、吉田宗一郎〈監査役〉各オブザーバー）

①332複合地区からの申請②今後の支援計画③その他

第3回複合地区会則委員長連絡会議要録（6月1日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：富田純明、山田稔、田中寿一、塚田雅二、土屋誠司、小林登、光貞正明、千阪治夫各委員）

①第2回会議要録の確認②サンフランシスコ国際理事会決議要約の確認③釜山国際大会上程の国際付則改正案の確認④第58回複合地区年次大会報告⑤ライオンズ必携第52版の改訂⑥ライオンズ必携注文取りまとめ依頼文書の検討

第11回ライオン誌日本語版委員会（6月7日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：山浦晟暉、秦従道、高田順一各国際理事、宇田川雄弘、後藤忍、種市一二、高濱正敏、矢口武克、竹本實生、小田邦雄、澁田繁晴各委員、小峰理孝議長、荘英隆、辰巳博昭〈オンライン〉、小柴登司〈オンライン〉各ITアドバイザー）

①ライオン誌日本語版事務所の運営②2012年6月号（10万3100部発行）出来③7月号記事内容の確認④8月号以降台割（案）と主要記事予定⑤その他

新結成／解散／合併／名称変更

■新結成クラブ

北海道・札幌トラスト（池田謙一会長）▼6月6日結成▼スポンサー／札幌時計台

■解散クラブ

6月＝神奈川県・横浜神奈川／横浜ニューポート／平塚しらゆり／山梨県・南部／埼玉県・幸手／鷲宮／与野新生／北海道・斜里／今金／喜茂別／追分／青森県・むつ大畑／栃木県・足尾／宇都宮アイリス／群馬県・甘楽町／茨城県・伊奈／岐阜県・各務原クローバー／静岡県・新居町／福井吉田／長野県・豊野／兵庫県・有馬／北神戸グリーン／明石フレンドリィ／神戸垂名／大阪府・東大阪西（合併）／泉佐野／大阪南港（合併）／堺東／吹田千里／吹田アゼリア（合併）／大阪すみれ（合併）／和歌山はまゆう／京都伏見／兵庫県・加古川西／高砂の浦（合併）／島根県・川本／山口県・周東／福岡博愛／eye support／大分県・院内／熊本県・三角（合併）

■合併クラブ（合併前のクラブ）

大阪府・東大阪布施（東大阪布施／東大阪西）

大阪住之江（大阪住之江／大阪南港）

大阪府・吹田江坂（吹田江坂／吹田アゼリア）

大阪住吉（大阪住吉／大阪すみれ）

兵庫県・高砂（高砂／高砂の浦）

熊本県・パールライン（パールライン／三角）

■クラブ名称変更

静岡県・浜松→浜松ホスト

訃報

■元国際役員

ライオン橘康太郎（富山県・高岡中央）

6月1日死去、78歳。94年度334‐D地区ガバナー。

ライオン片山敏朗（静岡橘）

6月21日死去、87歳。91年度334‐C地区ガバナー。

■献眼

4月＝オライオン小口達夫（長野県・諏訪湖）／5月＝オライオン小林清造（長野県・下諏訪）

読者から―6月号

■思い出した水炊きの味

15年前、博多のタクシー運転手に「博多でいちばんおいしいものは?」と尋ねると「水炊き」と言われ、「それじゃあ、いちばんおいしい店に」とお願いすると、「長野」という店に到着。よく手入れされた小路を抜けて店内に入ると、年配の女将が現れ、おしゃべりと焼酎で歓待。すっかり水炊きの虜に。「THEME：福岡フォーラム展望」の「食の宝庫、福岡の『うまい!』を食べ比べ」という記事に「水炊き」という言葉を発見し、あの味を懐かしんだ次第。「クラブ・リポート」では、「南三陸町の仮設住宅に吹いた沖縄の風」が気になる。7月にクラブ有志で東北に行くが、予定では具体的に何をするというのでもない旅なので、少しはお役に立てることをしたいと感じた。

兵庫県・宝塚グリーンライオンズクラブ ●豊田高浩

■出来ないと決めつける前に

先日の次期会長セミナーでのことです。元地区ガバナーの思いが語られました。今、いちばんの目標は「会員増強」。この言葉は誰しもが思い、誰もが考えていることであると思います。しかし……。特に質問コーナーでは、出来ないことの理由を述べ「どうしたら良いのか?」との質問でありました。私は6月号「被災地のライオンズは今」の記事に、その答えが書かれていると思いました。ぜひ一度読み直してください。出来ないことを理由付けして述べ、出来ないと決めつけていたのでは良い経営者とは言えません。自分の会社に当てはめて考えてみてください。誰か一人でも……と考えて、地域貢献を考えることが出来たら、次のステップに向かえるのではないでしょうか。

愛知県・豊川中ライオンズクラブ ●藤井智香子

■非常時に生きる地域のつながり

「被災地のライオンズは今」には被災した各クラブの奮闘ぶりが掲載されていますが、ライオニズムに則った活動が行われている様に、普段我々が行っているアクティビティがいかに大切なのかを再認識させて頂いています。このような非常事態においては、環境美化活動やライオンズ・クエストなどの青少年健全育成活動など、常日頃から地域の方々と共に活動出来ているかどうかが重要になるのではないかと考えさせられました。それが出来ているからこそ、地域の方々のニーズに沿った行動が、感謝を持って受け入れられていることに敬意を表します。

沖縄県・浦添ウエストライオンズクラブ ●上原勝

ライオン誌例会のススメ

ライオン誌日本語版委員会はライオン誌の記事を活用した「ライオン誌例会」を推奨しています。

8月号THEME(5～25ページ)は「釜山国際大会」。国際大会は世界中のライオンズが集い交流するだけでなく、クラブが代議員を派遣して役員選挙や国際会則改正案に票を投じる重要な機関でもあります。これを機に、国際大会参加、クラブの代議員派遣について考えてみてはいかがでしょう。またウェイン・マデン新国際会長の方針を伝える「国際会長テーマ」の中でクラブが特に注力すべき活動は何か、話し合ってみましょう。

ライオン誌例会のノウハウを収めた**「ライオン誌例会 開催ガイド」**は、ライオン誌ウェブマガジン（www. thelion-mag.jp）「各種書式／ロゴ ダウンロード」のページでPDFファイルをダウンロード出来ます。本誌バックナンバーはEブック形式で公開しておりますのでご活用ください。

ライオン誌投稿要領

■クラブ・リポート 先月号30～41ページ：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。写真があれば添付。

■獅子吼 先月号43～47ページ：会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。

▼アクティビティ写真は動きのあるものを。記念撮影のような写真は掲載に適しません。

▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。

▼住所、氏名、クラブ名を明記。

送付先：〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ライオン誌事務所
Fax：03-3546-2630
E-mail：edit@thelion.jp

もう一度読みたい「あの記事」

『ライオン』誌バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

●1970年9月号　今月の椅子

「楽しい例会」

浜野虎雄（東京自由が丘ライオンズクラブ）

　もう10年も前のことですが、社用でアメリカを訪問し、ある町でタクシーに乗った時、その運転席にLマークを付けた箱が置いてありました。何のためかと聞くと、お客様に釣り銭や小銭を入れてもらって、この箱を持って例会へ出るのが何よりの楽しみなのです、との答えでした。

　日本のライオンズクラブと考え合わせて、いろいろな問題が頭の中をかすめましたが、特にこの運転手のクラブ例会での動きが目の前のことのように想像されました。

　彼が待ち合わせのロビーで、あるいは例会の席で、その箱をジャラジャラ鳴らしながら仕事のことなどをメンバーの誰彼に面白おかしく話し、それを褒めたりやじったりするメンバーの様子であり、その小銭を数え上げて報告するテール・ツイスターの様子などです。ライオンズのメンバーなら誰もが想像し得る楽しい例会光景ではないでしょうか。

　私は昨年度E1地区のほとんど全部のクラブを訪問する機会を持ちましたが、このアメリカの運転手から思い描いた例会や、数少ないながら外国の例会訪問の経験などと比べて、おのおのに多少の変わりはあっても、日本の例会が形式的に流れ、あるいは儀式化していることがつくづく感じられました。また、いろいろな機会に多くの人から例会の在り方についての話を聞かされ、例会よりも理事会や委員会の方が自由に物を言えるので楽しいとも聞き、多くのメンバーが形式化した例会に疑問を持っていることも分かりました。

　ライオンズクラブ創設の根本は、いろいろな職種の会員が集って、お互いの友愛を深め、その中から社会奉仕が生まれるという社交クラブであると考えます。したがって例会は自由で楽しい社交ムードであるべきものと思うのです。会長、幹事の事務的な発言だけで、メンバーは食事時間中も遠慮がちなひそひそ話をしているような例会では、社交ムードとはおよそ遠いもので、例会が味気ない、事務的だとかで欠席したり、嫌気が差して退会するメンバーが出る原因になるのではないでしょうか。

　私自身、過去12年間も１００％出席を続けたのは、特に例会が楽しかったためでなく、役職の義務と生活の一部として習慣的にクラブ例会日を空けることが出来たためで、ただ一つの救いは同志の誰彼と会えることでした。

　日本のライオンズクラブは、世界的にも立派な成長を遂げてきましたが、例会を楽しい社交ムードに脱皮させることによって、内容的にも立派なものとなることと思います。

　古い習慣を破ることは困難ですが、会員、特に新しい会員をつなぎ止める意味においても大切な問題で、会員一人ひとりが真剣に考え実行してゆくことが望まれてなりません。

読者プレゼント

■ピン3点セットを10人に

THEMEでリポートした釜山国際大会のお土産として、ピン3点をセットにしてプレゼントします。「奉仕の世界」をテーマに掲げて就任したウェイン・マデン新国際会長の会長ピン（国際協会公式ウェブサイトのオンラインショップ限定販売バージョン／デザイン＝国際会長テーマ・ロゴ、カラー＝ゴールド）、釜山国際大会の記念ピン、国際平和ポスター・コンテストの25周年記念ピンの3点セットとなります。

応募要領：プレゼントをご希望の方は、はがきに「釜山土産」と明記して、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。ライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=0）からオンラインでの応募も出来ます。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は8月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

次号予告

THEME 障害者と共に

障害を抱える人々に寄り添い、支援する事業は、日本の多くのクラブが伝統的に取り組んできたアクティビティの一つ。新潟千歳ライオンズクラブによる「ふれあいウォーク」と、栃木県・宇都宮中央ライオンズクラブの筋ジストロフィー症者招待旅行を取材する他、4クラブの活動をリポートする。

クラブ・リポート

各地のライオンズクラブによるアクティビティを中心に、例会や同好会活動など、クラブから寄せられる活動リポートを掲載。

ふるさと探訪 長野県塩尻市

旧中山道、木曽11宿の中でも、「奈良井千軒」と謳われて賑わいを見せた奈良井宿。今も千本格子の家々が連なり往事の面影を残す宿場町には、木曽漆器の技と伝統も継承されている。

築地通信

●ここ10年ほどの間に、築地界隈の下町風情を残した家屋や、古いオフィスビルが、次々とマンションに姿を変えている。7階にあるライオン誌日本語版事務所からの風景にも最近、2棟のマンションが加わった。以来、急な雨に窓の外を見ると、ベランダの洗濯物が目に入って妙に気になってしまう。（かわむら）

●訂正とお詫び

7月号に以下の誤りがありました。「地区ガバナー紹介」（19ページ）で、335・A地区ガバナーのキーワードは正しくは「友愛と交流の輪を広げよう」、「クラブ・リポート」（38ページ）の大阪府・吹田ライオンズクラブの記事で「関西大学吹田市立千里丘中学の生徒」とあるのは正しくは「関西大学の学生と吹田市立千里丘中学の生徒」、「獅子吼」（43ページ）「水みち」の文中、ライオン高橋弥喜とあるのはライオン高橋潔志の誤りでした。お詫びして訂正致します。

Official publication of Lions Clubs International

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571（代）　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

編集室

1300万円の赤字予算を跳ね返す

ライオン誌日本語版委員長
◉
澁田繁晴
（福岡県・飯塚）

昨年7月28日、ライオン誌日本語版委員会の第1回会議が開催され、その席で委員長を拝命しました。前年度の委員会からは特に、「広告料収入増への努力」「東日本大震災関連ページの継続」「サポーター制度の継続」「ライオン誌例会普及推進」の4点について引き継ぎを受けました。

これらの課題については、委員会としてそれぞれ積極的に取り組みましたが、中でも東日本大震災に関しては、ライオン誌委員会の折に被災地の地区ガバナーや被災クラブとオンラインでのミーティングを行うなど、力を入れてきました。その姿勢は「被災地のライオンズは今」の連載を始め、「追跡・東日本大震災」、「被災地応援企画・東北を旅する」、「追跡・東日本大震災Ⅱ」の3回の特集などに反映されたと思っています。

第1回会議ではまた予算案も策定しましたが、円高や会員数の減少、景気低迷による広告料収入減などの要素が重なり、約1300万円の赤字予算をもってスタートすることになりました。

ライオン誌の主な収入源の一つ国際協会補助金は、会員1人当たり年間6ドルとなっています。家族会員2人目以降は補助金から除かれ、実際の会員数より少ない人数で入金されるため、上半期と下半期の平均基準会員数は10万1182人でした。更に今年度は歴史的な円高も重なり、年間の補助金は約4800万円に止まりました。

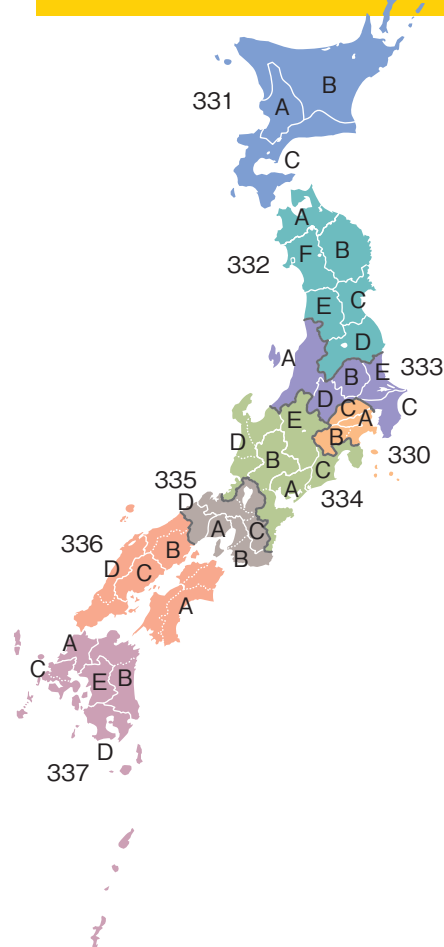
これは昨年度に比べ約500万円、一昨年度からは1千万円以上の減収となります。5年前の補助金が年間で約8600万円でしたから、1人当たりは同じ6ドルでも、総額では44％も目減り（約3800万円減）したことになります。

この間、歴代委員会は経費削減に努めてこられました。その上で、今年度も更なる努力を重ね、最終的には赤字幅を予算の1割程度に縮小することが出来ました。誌面を維持しつつ、コスト削減を実現出来たのは、国際理事を始め各委員、事務所職員の皆さんのおかげです。改めて感謝申し上げます。

日本のライオンズ

2012.6.30　eMMR ServannA報告による

地区	都道府県	クラブ数	会員数	男性会員	女性会員	期首からの増減
330-A	東京	204	4,994	4,283	711	67
330-B	神奈川·山梨·東京	177	4,914	4,284	630	4
330-C	埼玉	94	2,305	2,066	239	-95
330	計	475	12,213	10,633	1,580	-24
331-A	北海道（道央）	72	2,413	2,237	176	-38
331-B	北海道（道北·道東）	89	2,452	2,330	122	-30
331-C	北海道（道南）	53	1,766	1,579	187	-119
331	計	214	6,631	6,146	485	-187
332-A	青森	65	1,738	1,554	184	20
332-B	岩手	55	2,257	1,575	682	39
332-C	宮城	76	1,541	1,257	284	8
332-D	福島	76	1,944	1,749	195	-12
332-E	山形	58	1,810	1,607	203	-6
332-F	秋田	51	1,282	1,046	236	-4
332	計	381	10,572	8,788	1,784	45
333-A	新潟	78	2,823	2,513	310	-25
333-B	栃木	54	1,472	1,085	387	-111
333-C	千葉	139	3,439	2,892	547	-97
333-D	群馬	53	2,055	1,666	389	-21
333-E	茨城	77	2,746	2,478	268	-63
333	計	401	12,535	10,634	1,901	-317
334-A	愛知	122	5,187	4,651	536	-81
334-B	岐阜·三重	83	3,480	3,182	298	-24
334-C	静岡	82	3,107	2,981	126	-44
334-D	富山·石川·福井	96	3,799	3,554	245	-91
334-E	長野	52	1,983	1,769	214	-55
334	計	435	17,556	16,137	1,419	-295
335-A	兵庫（東）	95	2,305	1,989	316	-145
335-B	大阪·和歌山	180	5,441	4,829	612	-253
335-C	滋賀·京都·奈良	120	3,876	3,571	305	-56
335-D	兵庫（西）	66	1,918	1,716	202	-80
335	計	461	13,540	12,105	1,435	-534
336-A	徳島·高知·香川·愛媛	151	5,471	4,825	646	-146
336-B	鳥取·岡山	96	3,047	2,746	301	-97
336-C	広島	101	3,401	3,200	201	-51
336-D	島根·山口	99	3,131	2,914	217	-123
336	計	447	15,050	13,685	1,365	-417
337-A	福岡·長崎	116	4,351	3,834	517	-73
337-B	大分·宮崎	73	2,311	2,151	160	37
337-C	佐賀·長崎	84	3,088	2,583	505	11
337-D	鹿児島·沖縄	80	2,346	2,131	215	-41
337-E	熊本	59	1,601	1,448	153	32
337	計	412	13,697	12,147	1,550	-34
総計		3,226	101,794	90,275	11,519	-1,763
世界のライオンズの		7.0%	7.6%	8.8%	3.5%	

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2012.6.30　国際協会集計

ライオンズ国または領域	207
世界のクラブ数	46,318
世界の会員数	1,347,454
※男性会員数	1,021,679
※女性会員数	325,775
期首からの増減	5,858

国	クラブ数	会員数	期首からの増減
アメリカ	12,246	347,170	-10,457
インド	6,070	216,188	11,497
韓国	2,117	81,354	-1,983

ライオン誌8月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費76円
2012年（平成24年）7月20日発行　毎月1回20日発行　第55巻第2号

発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 Tel 03-3542-9571
印刷所　共同印刷株式会社

LEADERSHIP

51st.OSEAL FORUM in FUKUOKA

LIONS INTERNATIONAL

2012.11.8-11

Leadership from Asia to the World

守禮之邦

提供：福岡市

第51回OSEALフォーラム 福岡

2012年11月8日（木）-11日（日）

TEL:092-741-8601　FAX:092-741-8607

Website:http://www.oseal2012.com

PHOTO : FUMIO HASHIMOTO